

Sports Graphic Number

JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2024-25

NTT

THE NIKKEI
MAGAZINE
STYLE

日経マガジンスタイル 6 December 2024

NTTジャパンラグビー リーグワン2024-25開幕

闘 球 鳴 動、
飛躍の4季目へ

JAPAN RUGBY
LEAGUE ONE

全26チーム紹介 & ホストゲーム日程

18 DIVISION 1

Conference A 浦安D-Rocks／コベルコ神戸スティーラーズ／
静岡ブルーレヴズ／東芝ブレイブルーバス東京／
三菱重工相模原ダイナボアーズ／横浜キヤノンイーグルス
Conference B クボタスピアーズ船橋・東京ベイ／埼玉パナソニックワイルドナイツ／
東京サントリーサンゴリアス／トヨタヴェルブリッツ／三重ホンダヒート／
リコーアクアラムズ東京

22 DIVISION 2

NECグリーンロケッツ東葛／九州電力キューデンウォルテクス／
清水建設江東ブルーシャークス／豊田自動織機シャトルズ愛知／
日本製鉄釜石シーウェイブス／花園近鉄ライナーズ／
日野レッドドルフィンズ／レッドハリケーンズ大阪
COLUMN 今季リーグワンの「ワールドクラス」概況

26 DIVISION 3

クリタウォーターガッシュ昭島／狭山セコムラガツツ／中国電力レッドレグリオンズ／
マツダスカイアクティブズ広島／ヤクルトレビンズ戸田／ルリーゴ福岡

25 [アーリーエントリーの成功]

才能あふれる今季注目の若手たち。

28 スタジアム&チケットガイド

COLUMN リーグワン大会フォーマットの変更点とは？

30 [勝者のトレンド]

リーグワンを牽引する外国人コーチの組織論。

NTTジャパンラグビー リーグワン2024-25開幕特集

日経マガジンスタイル広告特集

編集 文藝春秋 〒102-8008 東京都千代田区紀尾井町3-23

発行 日本経済新聞社 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7

表紙写真／松本輝一



CONTENTS

- 4 [スペシャルインタビュー]
エディー・ジョーンズ 「リーグワンへのメッセージ」
- 6 リッキー・モウンガ 東芝ブレイブルーバス東京
「問われるのは“新しい現実”への適応」
- 10 小野晃征HC 東京サントリーサンゴリアス
「常勝チーム復活への決意」
- 12 松田力也 トヨタヴェルブリッツ
「圧倒的な10番になるために」
- 14 浦安D-Rocks & 花園近鉄ライナーズ
「希望に満ちたそれぞれの再出発」
- 17 ルリーゴ福岡
「母体企業に頼らない挑戦」

NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2024-25

闘球鳴動、飛躍の4季目へ



LEAGUE ONE 2024-25

闘球鳴動 飛躍の4季目へ

生島淳 = 文

text by Jun Ikushima

松本輝一 = 写真

photographs by Kiichi Matsumoto

EDIE LEAGUE ONE

スペシャルイントビュー

「リーグワンの発展が、日本の強さに直結する」
エディー・ジョーンズ

エディー・ジャパンは3年後のW杯でさらなる飛躍を期し「超速ラグビー」を掲げた。世界4強を狙うコンセプトを実現するため、指揮官がリーグワンに求めるものとは?



エディー・ジョーンズ

1960年1月30日生、オーストラリア出身。現役時代のポジションはフッカー。'12年、日本代表HC就任。'15年W杯で南アフリカを撃破するなど3勝を挙げる。'19年W杯ではイングランドを率いて準優勝。'23年W杯にはオーストラリア代表HCとして臨むも、同国初のプール戦敗退。'24年1月、日本代表HCに再任

昨季のリーグワンでは、この3人がベスト3の選手でした。忘れて欲しくないのは、彼らが決して体格に恵まれているわけではないことです。体が小さくとも、スピードと強さで世界最高の選手になれるのです。ですから、日本の選手たちも言い訳はできませんよ。

実際、彼らの存在が試合の質を高めていることに疑いはないのですが、一方で解決しなければならない問題をリーグワンは抱えています。各チームが資金を投下し、海外の選手を獲得した結果（日本代表資格のある）日本出身の選手たちの割合が低くなっているのです。昨季、リーグワンでプレーした日本の選手たちの割合は53%にとどまりました。日本代表の強化を念頭に置いた場合、この数字は低いと言わざるを得ません。この割合を高めなければならない。

この課題を解決するための好例をフランスに見出すことができます。フランスの「TO P14」はヨーロッパでは最高峰のリーグと言つていいでしょう。現在、日本代表の一員でもあるスクラムハーフの齊藤直人がトゥールーズ、ナンバーエイトのテビタ・タタフがボルドーでプレーしています。

日本のみなさんは、国内に「リーグワン」という素晴らしいリーグがあることを誇るべきです。なぜなら、世界的に見ても質の高いラグビーが展開される、世界基準のリーグと言えるからです。

その質を支えているのは、海外からやってきた世界トップレベルの選手たちです。ニュージーランドからは、昨季ブレイブルーパスを優勝に導いたスタンドオフのリッチー・モウnga。前回のワールドカップ（W杯）で優勝した南アフリカからは、世界最高のワイングのひとりであるチエスリン・コルビ（サンゴリアス）、そしてFWでは強さと巧さを兼ね備えるクワッガ・スマスがブルーレヴズでプレーしています。

昨季のリーグワンでは、この3人がベスト3の選手でした。忘れて欲しくないのは、彼らが決して体格に恵まれているわけではないことです。体が小さくとも、スピードと強さで世界最高の選手になれるのです。ですから、日本の選手たちも言い訳はできませんよ。

実際、彼らの存在が試合の質を高めていることに疑いはないのですが、一方で解決しなければならない問題をリーグワンは抱えています。各チームが資金を投下し、海外の選手を獲得した結果（日本代表資格のある）日本出身の選手たちの割合が低くなっているのです。昨季、リーグワンでプレーした日本の選手たちの割合は53%にとどまりました。日本代表の強化を念頭に置いた場合、この数字は低いと言わざるを得ません。この割合を高めなければならない。

この課題を解決するための好例をフランスに見出すことができます。フランスの「TO P14」はヨーロッパでは最高峰のリーグと言つていいでしょう。現在、日本代表の一員でもあるスクラムハーフの齊藤直人がトゥールーズ、ナンバーエイトのテビタ・タタフがボルドーでプレーしています。

かつてTOP14もリーグワンと同じような問題を抱えていましたが、意図的にフランス出身選手を増やした結果、6年かけてその割合を75%にまで高めることに成功しました。それにもなって、フランス代表は地元で開かれた'23年のW杯で優勝を狙えるほど、戦力を充実させることができました。

その意味で、12月21日に開幕するリーグワンでは、ぜひとも日本の選手たちが躍動する姿を見てみたい。私が選手たちに求める要素は、速さとフィジカルです。日本代表が掲げている「超速ラグビー」を実現するためには、どうしてもこのふたつの要素が欠かせないからです。

世界でもトップレベルの選手が活躍するリーグワンで、日本の選手たちがどう対抗するのか。それはそのまま世界につながるプレーになるのです。私が注目期待している選手について、FWから見ていきましょう。

最初に挙げたいのが、10月のニュージーランド戦から代表に復帰した姫野和樹（ヴエルブリッツ）です。姫野は肘の故障から見事に復活し、高いワークレートを誇っています。2度のW杯、そして'23年のW杯ではキャプテンの経験もあり、これからキヤリアのプライムタイムを迎えるのではないかでしょうか。

そして、中学時代から日本で育つたワーナー・ディアンズ（ブレイブルーパス）は、本当に素晴らしい活躍を見せています。ディアンズには、オールブラックで活躍したサム・ホワイトロックのような、世界を代表するロックになれる資質があります。ぜひとも、リーグワンでは相手を「ドミネート」、圧倒して欲しい。日本のみなさんには、ぜひとも彼の成長を楽しんでもらいたいと思います。

また、日本代表のオータムテストシリーズでの収穫に、スクラムが安定してきたことが挙げられます。'23年のW杯からメンバーがガラリと替わり、FW第1列で残っているのは

坂手淳史（ワイルドナイツ）だけで、スクラムコーチ、メンバーが大きく変わったなかで結果を出したのです。それを支えているのは、有能な新たな人材です。

プロップの三浦昌悟（ヴエルブリッツ）、茂原隆由（ブルーレヴス）、竹内柊平（D-Rocks）と20代の選手たちが台頭し、彼らにはまだ伸びしろがたくさんあります。為房慶次朗（スピアーズ）に至っては、チームのキヤップ数よりも、日本代表のキヤップ数の方が多いかもしれません（笑）。また、フッカーハは坂手だけではなく、原田衛（ブレイブルーパス）が前向きな態度で、チームに好影響をもたらしてくれているのが心強い。

では次に、BKを見ていきましょう。

世界的に見て、日本のユニークなポジションは「9」、スクラムハーフです。日本のSHは運動量があり、球さばきが速く、アタックにテンポを演出できる。超速ラグビーを実現するには優秀なSHが欠かせません。

フランスでプレーしている齋藤、そして数試合で先発を務めた藤原忍（スピアーズ）は、試合経験を重ねるごとに大きな進化を遂げています。小山大輝（ワイルドナイツ）は堅実で、着実に国際経験を積んでいます。また、飯沼蓮（D-Rocks）もチームではキャプテンを務めており、リーダーシップを發揮できます。

そして私が注目しているのは、福田健太（サンゴリアス）です。福田はケガのため代表活動から離れていますが、俊足で、個性豊かな人物もあります。ラグビーにおいては眞面目一辺倒ではなく、時にユニークな選手が状況を開してくれることがありますから、福田が新天地のサンゴリアスでどんなプレーを見せるかが楽しみですね。その他にも、北條拓郎（ヒート）はメンタル面での強さがプレーで表現されています。

このように日本の9番は多才活々、世界的

に見てもユニークな「SH生産国」と言うことができます。いま名前を挙げた選手たちだけではなく、他の選手たちもリーグワンで充実結果を出したのです。それを支えているのは、

プロップの三浦昌悟（ヴエルブリッツ）、

茂原隆由（ブルーレヴス）、竹内柊平（D-Rocks）と20代の選手たちが台頭し、彼らにはまだ伸びしろがたくさんあります。為房

慶次朗（スピアーズ）に至っては、チームのキヤップ数よりも、日本代表のキヤップ数の方が多いかもしれません（笑）。また、フッカーハは坂手だけではなく、原田衛（ブレイブルーパス）が前向きな態度で、チームに好影響をもたらしてくれているのが心強い。

では次に、BKを見ていきましょう。

世界的に見て、日本のユニークなポジションは「9」、スクラムハーフです。日本のSHは運動量があり、球さばきが速く、アタックにテンポを演出できる。超速ラグビーを実現するには優秀なSHが欠かせません。

W杯を共に戦った稻垣啓太（ワイルドナイツ）と、松島幸太朗（サンゴリアス）のプレーぶりにも注目したいと思います。

今季のリーグワンでは、「15年の

W杯を共に戦った稻垣啓太（ワイルドナイツ）と、松島幸太朗（サンゴリアス）のプレーぶりにも注目したいと思います。

稲垣も34歳となり、いまは

ラグビーと程よい距離を保ち

ながら、気持ちをリフレッシ

ュしているのではないでしょ

うか。プロップは経験がモノ

をいうポジションであり、私

の考えではFW第1列のピー

クは30代に入つてからだと思

っています。稲垣が再びハー

ドワークを厭わないラグビー

に対する情熱を取り戻していく

ことがあります。稲垣が再びハー

ドワークを厭かないラグビー

MO'UNGA

リーグワン3年目の2023-24シーズン、王座を獲得したのは東芝ブレイブルー。パス東京だった。旧トップリーグ時代の'09年度以来14季ぶりの頂点。そのグローリー・ロードに大きな貢献を果たしたのが司令塔のリッキー・モウンガだった。

開幕の1ヵ月少し前までニュージーランド（NZ）代表としてワールドカップを戦つていたSOは、新たに身を投じた日本のリーグワンでも庄巻のゲーム統率力を發揮。リーグ戦16試合中13試合にSOで先発（うち12試合にフル出場）。プレーオフでは準決勝でリーグ戦3位の東京サンントリーサンゴリアスを28-20、決勝ではリーグ戦で全勝を飾った埼玉パナソニックワイルドナイツを24-20と接戦で破るみごとな勝利へと導き、自身はMVPに輝いた。

— 優勝できた決め手は何でしようか？

「最大の要因は、コーチングスタッフと選手の連携が良かつたことです。選手層も厚かったです。シーズンの最初、この選手も日本代表に呼ばれても良いのにな……と思った選手がたくさんいたけど、実際、シーズンが終わったら大勢が代表に呼ばれたね」

— 合流したときのチームの第一印象はどうなものでしたか？

「良い人間が揃っているなと感じました。温かく迎えてくれたし、ラグビースタイルも僕に合っていた。選手のスキルも高い。それはレギュラー選手だけでなく若手も。たとえば



LEAGUE ONE 2024-25

闘球鳴動、 飛躍の4季目へ

大友信彦 = 文
text by Nobuhiko Otomo

松本輝一 = 写真
photograph by Kichi Matsumoto

TOSHIBA BRAVE LUPUS TOKYO RICHIE

[昨季MVPが語るリーグワン]

リッキー・モウンガ

東芝ブレイブルーパス東京

「問われるのは“新しい現実”への適応」

昨シーズン、鳴り物入りでリーグワンに戦いの場を移し、
ブレイブルーパスを14季ぶりの頂点に導いた世界最高峰SOが、
栄冠の理由、そして日本ラグビーの印象を忌憚なく語る。



森勇登はリザーブが多かったけどCTBとWTB両方で高いスキルを持つていて驚いた。彼だけでなく、選手たちはみな謙虚で規律高く、ハードワークを厭わず、学ぶ姿勢が優れている。ノンメンバーも、自分が試合に出たい思いを抑えてチームの準備に身体を張つてくれている。彼らはアンサンブルヒーロー（陰のヒーロー）だね

——しかし、リーグワンへはW杯が終わってすぐの合流でした。大変だったのは。

「とてもタフでした。それまで何カ月間か、身体もメンタルもずっと高いプレッシャーを受けて過ごしていた上に、W杯ではとても悲しい結果でしたからね。ラグビーをしてきて最も悲しい、ハートブレイキングな時間でした。簡単には乗り越えられなかつた。でも日本に来る日は先に決まっていたので、もう来るのは、この新しい環境でベストを尽くそうといふ気持ちに切り替わっていました。過去は過去ですから」

——移籍先に欧洲ではなく日本のフレイブル

——パスを選んだ理由を聞かせて下さい。

「変化が欲しかったんです。NZではクルセイダーズで7年続けてチャンピオンになれ、オールブラックスで2度W杯に出られた。自分の人生の中でリフレッシュが欲しかった。新しいものを探めていた。そのタイミングで日本からオファーがあつて、これは僕だけではなく家族にとってもポジティブだと思ったんです。英語圏と違う文化やライフスタイルを学ぶことは家族全員にとって新しいチャレンジだし、実際に来て暮らしてみて、妻や子どもとの絆も深まりました。導かれたんだなと思っています」

——新しい環境で苦労はありましたか？

「NZの家族と会えなかつたことは、子どもたち2人にとっては辛かつた。最初の頃はホームシックになつていきましたね。お祖父ちゃんに会いたい、従兄弟たちと遊びたい……悲しむ姿を見ると僕も複雑な気持ちになりました。でも、子どもたちも日本の環境にすぐに慣れました。地元の幼稚園に行つて、日本に慣れた子どもたちと一緒に普通に遊んでいる。言葉を覚えるのも速い。朝は僕がトレーニングに行くときと一緒に家を出ています。家族は

みな、日本での生活をエンジョイしています」

——シーズン中にはお父さんが亡くなるという悲しい出来事もありました。

「はい。とても悲しい出来事でした。でも葬儀のためにNZへ帰つたら、世界中から従兄弟や伯父叔母、会つたことのない親戚も大勢集まつっていました。父を中心に、改めて家族や親戚の繋がりを確認できたのは良かった」

——集まつたみなさんは『日本はどう？』と聞かれたでしょう？

ワールドクラスが感じた
日本のラグビーとは。

——改めて、プレーした日本のラグビー、リーグワンのスタイルはどう感じましたか？

「速いラグビーはもともと僕の好きなスタイルだから、馴染むことに難しさはなかつた。ただし、ラグビー全体の印象としては、速すぎるゆえのエラーも比例して多く、ハイスクアのゲームが多い。相手陣深くまで攻め込んでるのに、エラーから一気に自陣のゴール前まで戻されてしまうことも珍しくない。自分たちの優位性を維持するためには、常に速いだけでなく、ときにはゆっくりさせてゲー

ど、僕の答えは『悪いところは何もない』。

僕が毎朝子どもを幼稚園に送つて、自転車でクラブハウスに岡田ついていることを話すとみんな驚いていた。東京は世界一人口密度が高い超忙しい街だと思っているんだよね。でも実は、スローライフな生活もできる。そしてラグビー選手としての環境も充実している



主将のリーチマイケル(左)と優勝トロフィーを手にするモウンガ

ムを落ち着かせるようなコントロールが必要だと思った」

——その部分を、モウンガさんはどのようにコントロールしたのですか？

「チームのリーダー陣とはよく話しました。そこで大枠を話して、各リーダーから試合に出る15人、23人の選手たちに伝えてもらい、各自の仕事に繋げてもらつた。その作業を正確に繰り返すことで、シーズンを通して徐々にゲームの質が上がつていきました」

——対戦したチームで印象に残つたチームやプレーはありましたか？

「ラグビーのスタイルとしては、サプライズは特になかつたかな。僕もこれまでいろいろなチームと対戦してきたしね(笑)。むしろ、



上位チームには強いチームカルチャー、信念を感じた。ワイルドナイトとサンゴリアスはそれを強く感じました。イーグルスも良いチームです。ヴエルブリッツとステイラーズも、成績はもう一步だったけど、ギリギリの試合が多かった。リーグ全体として競争力が高いと思いました

——リーグワンで良いと感じたところを聞かせて下さい。

「ポジティブな要素としてひとついえるのは、トライが多いところです。ファンは観ていて楽しいと思う。試合展開もスリリングで、最後の時間帯までどう決着するか分からぬい、目の離せない試合が多い。

それと、昼間の試合が多いことです。ラグビーシーズンは冬だから、日が高くて暖かい午後2時台のキックオフが多いのは嬉しい。小さな子どもも夜更かしせずに試合を観に来られて、試合の後、家に帰つて家族と一緒に食事できて、子どもも試合内容についても話せる。NZではほとんどが夜7時からのナイトゲームだから、家に帰る頃にはもうみんな寝ていた。日本に来て、試合の日に家族と一緒に夕食を囲んだときは、最初は妙な感じがしたくらいです（笑）。もちろん、試合の後、チームメートとビールを飲んで勝利を祝う時間がたっぷりあるのも、とてもうれしい」

——逆に課題は何かありますか？

「そうですね……僕が感じたのは、試合の後、選手やスタッフの子どもたちがグラウンドに出来られなかつたことかな。僕らも80分プレーした後、子どもたちに会いたいし、子どもたちも父親がプレーした芝の上に出て走り回りたい。

僕自身、子どもの頃、父親がラグビーをしたグラウンドに試合後に入れてもらつて芝の

トライが多く、
試合展開もスリリング。
ファンは観ていて
楽しいと思う。

リッチャー・モウンガ

1994年5月25日生、ニュージーランド出身。'16年から'23年までクルセイダーズでプレーし、スーパーラグビーで7回のタイトルに貢献。'17年にオールブラックスに初選出され、「19年と'23年のW杯で活躍。通算56キャップ。'23年11月にブレイブルーパスに加入し、初年度にしてチームをリーグ制覇に導いた。176cm、83kg



TOSHIBA BRAVE LUPUS TOKYO
RICKER MOUNGA

上に立つたとき、『大人になつたら自分もここに選手として立ちたいな』と思つた。스타ジアムは『いつかここでプレーしたい』といふ子どもの夢を育む場だと思うし、子どもには芝を開放してあげてほしいと思います』

——改善されることを期待したいです。最後にモウンガさん自身の2年目に向けた抱負を聞かせて下さい。

「一度勝つよりも連覇する方が難しい。それは僕自身の過去の経験からも間違いない。選手だけでなくコーチもスタッフも、クラブに関わる全員が慢心せず、新たなチャレンジに向かつて行くことが必要です。ラグビーはルールが生まれ続ける。同じやり方を続けても勝てないから、シーズンが始まつて新しいラグビーに対してどう適応していくかが問われます。自分たちからここを変えたいというよりも新しい現実にどう適応していくか。その都度ピッチの上で学んで、対応策を見つけて周囲に伝えて影響力を發揮していく。そして自分のパフォーマンスでチームに貢献していくことが目標です」

——新たに日本代表を経験した仲間もいます。「マモル（原田衛）タク（松永朝朗）、それに前から代表にいるワーナー（デイアンズ）とジョネ（ナイカブラ）、みんな成長して帰つてくるはずです。特にタクは、去年ここに来てからずっと一緒にポジションで頑張ってきた兄弟みたいな存在だから、彼が活躍しているのはすごくうれしい。そして、彼らが抜けていく間に若い選手が出てきているのもうれしい。新しいブレイブルーパスをお見せできるのが楽しみです！」

■ ありがとうございます！ 開幕を楽しみにしています！



RY SUNGOLIATH

[リーグワン最年少HC]
小野晃征 東京サントリーサンゴリアス
「常勝チーム復活への決意」

LEAGUE ONE 2024-25
闘球鳴動
飛躍の4季目へ

田村一博 文
text by Kazuhiro Tamura

かつては優勝争いの常連だったサンゴリアスは、この数年
わずかに頂点に手が届かないもどかしいシーズンを過ごしている。
そんな状況を打破すべく起用された、37歳の新HCの勝負手とは。

今季からサンゴリアスの指揮を執る小野晃
征HCは、発足から3季すべて異なるチーム
が優勝するほど競争力の拮抗しているリーグ
ワンで、コンスタンートにパフォーマンスを出
してシーズンを戦い切ることが重要と考える。
「シーズンを通じ、選手たちが優勝できると
信じて戦う。勝負の時期に、サンゴリアスが
大事にするアグレッシブ・アタッキング・ラ
グビーを出して戦えるようになるような環境
を作り、選手たちをサポートするのがコーチ
の仕事と思っています」と話す。

「ラグビーは60分では勝てませんが、60分で
負けることはある」と勝負論を語る。

「残り20分の時に勝てるチャンスがある位置
(点差)についていて初めて勝負ができるて、

常勝チームの看板を、もう一度掲げるチヤ
レンジが続く。

最後に頂点に立つたのは、トップリーグ時代の2017-18シーズン。前季からの連覇を果たした後、東京サントリーサンゴリアスは6年、5シーズンにわたり覇権を逃している(2020シーズンはコロナ禍で中止)。

王者の称号を失った間も、ファイナリストとなること3度。昨季、一昨季は3位、4位と優勝の文字が視界から消えたことはない。

ただ歓喜の記憶は薄くなりつつある。あと一歩の感覚より、越えられぬ壁が毎年厚くなっている気がする。

昨季はレギュラーシーズン16試合で10勝5敗1分けの3位だった。優勝した東芝ブレイブルース東京は14勝1敗1分だけでプレーオフに進み、勝ち切った。

「シーズンを通じ、選手たちが優勝できると信じて戦う。勝負の時期に、サンゴリアスが大事にするアグレッシブ・アタッキング・ラグビーを出して戦えるようになるような環境を作り、選手たちをサポートするのがコーチの仕事と思っています」と話す。

「ラグビーは60分では勝てませんが、60分で負けることはある」と勝負論を語る。

「残り20分の時に勝てるチャンスがある位置(点差)についていて初めて勝負ができるて、

DIVISION

Conference B

そこで決着をつける力がある方が勝つ」
「シーズン全体を見るなら、序盤戦で負けが
込めば終戦。日程の2/3で先頭を走つても
失速してはダメだ。プレーオフに進出して(今
季は6位まで)なお自分たちの力を出し切る
チームこそが目的地にたどり着ける。

昨季までアシスタントコーチだった新任指

揮官は、チームスローガンを『WIN THE
ONE』とした。「目の前のこと一つひとつに
勝ち、前へ進んでいく」姿勢を徹底させたい
からだ。

試合だけではなく毎日の練習、ひとつのメニ
ューで、一人ひとりの選手が競争に勝つ。月
曜日から金曜日までの準備期間にそれを繰り
返し、(試合出場の)ジャージーを手に入れ、
相手に勝つことを最後まで続けたい

そのサイクルがチームに一貫性を呼ぶ。最
後に笑えることにつながる。

小野HCが現職への就任を打診されたの
は、「昨季終盤だった」。
「オファーは嬉しかったのですが、自分がそ
うなることで、他の人の人生が変わる。家族
にも影響がある。なので、少し時間をもらつ
てから決断しました。いろんな人がこのロー
ル(役割)に就きたい中で自分が任せられたこ
とを幸せに感じています」

37歳でシーズン開幕を迎える。リーグワン
の監督HCの中で最年少。それを未熟と不
安材料にせず、「武器にしたい」と自論む。
バイリンガルという点も自分の強みです。ス
タッフや選手たち全員と深く関わり、考え方
浸透させることができます」

名古屋生まれ。1歳半でニュージーランド
へ。クリストチャーチボイズ高出身。U
19カンタベリー州代表だった。'07年に福岡サ
ニックスブルース入団。同年、19歳で日本代
表となり、ワールドカップにも出場した。

'12年にサンゴリアスへ移籍。2016-'17
シーズンから2季続けてトップリーグ王者と
なったチームのスタンダードオフを務め、'15年の
W杯で南アフリカを撃破した日本代表で見せ
た判断力を存分に發揮した。

新HCが信じる 現有戦力のポテンシャル。

HCを務めるチームにSH.福田健太(前ト
ヨタヴエルブリッツ)らの加入はあるが、新
たなビッグネームの来日はない。昨シーズン
から大きな補強のない今季の陣容を、「優勝
できるだけの力がある56人の選手たちと信じ
ています」と言い切る。

「昨シーズンは43人の選手たちがリーグワン
の試合に出場しました(クロスボーダーラグ
ビー)

TOKIO SUNTOKE KOSEI ONO

いつも、まだ足りないと感じていた。
指導者はそういうタイプがいいかなと思う。



サニックスやサントリーでプレーし、2021年に現役引退。
昨季サンゴリアスのコーチとなり、1年でHCに就任した

ビーを含むと47人)。全選手の8割に出番が
あつた。一人ひとりの成長をサポートし、力を
を伸ばせばチーム力も高まる」
ニュージーランド代表サム・ケイン(FL・
NO8)、南アフリカ代表のチエスリン・コ
ルビ(WTB・FB)が持つ力を最大限に活
用することも強化策の一部とする。

「あくまで選手の中のひとり。でも、とても
大事な存在。彼らはアップデートが続く世界
のラグビーの頂点にいる。その能力、情報の
シェアが周囲も引き上げると考えています」

HCになつて変えたことがある。土曜日に
ゲームがあるとしたら、木曜日を最後に選手
たちに指示を出さない。指導者の仕事はそこ
まで完了。選手たちは試合までに勝利への
イメージを練る。その時間に介入しない。キ
ックオフを迎えたら、描いてきたプレーを余
すことなく出し切つてほしいと願うからだ。

「現役時代、そうしてきました。シーズン前
に描く自分の姿は、決勝戦の通路で入场を待
つっているものでした。それまでに、やるべき
ことをすべてやり切った自分がいる。それを
想像して、シーズン前、シーズン中の各試合
の準備をしていました」

HCとして、優勝までのプランニングはあ
る。しかし、それがガチガチに固めた設計図
なら予定外の状況への対応が苦しくなる。
「何ヵ月もあとの結果ばかり考えていたら、
きょう何をすべきか、何ができるかといった
一番大事なことがぶれる。求めるもの(優勝)
がある中で、いまコメントロールでざることに
集中し、実行していくかないと」

「コミュニケーション能力はあつたけど、体
は小さく、スキルが飛び抜けているわけでは
なかつた」と自己分析する元スタンダードオフは
、「いつも、まだ足りない」と感じていた。
「指導者は、そういうタイプがいいかなと思
います」

変わらぬ童顔。しかし、勝負には強い。■

1
DIVISION
Conference B



TOYOTA VERBLITZ RIKIYA MATSUBA

[移籍の真相]
松田力也
トヨタヴェルブリッツ

「圧倒的な
10番になるために」

日本代表で司令塔として活躍、
リーグワンでも常勝チームの一員として
順風満帆のラグビー人生を過ごしていると
見えたSOが、誰もが予想し得なかつた
移籍を果たした。本人が明かすその目的とは。

LEAGUE ONE 2024-25

鬪球鳴動
飛躍の4季目へ

大友信彦 = 文
text by Nobuhiko Otomo
石川啓次 = 写真
photograph by Keiji Ishikawa

プロ野球ならストレーブリーグと呼ぶシーズンオフの移籍市場。ラグビーならエアコンリーグか? そんな呼び名はともかく、昨季終了後のリーグワン移籍戦線最大のトピックは「松田力也、ヴエルブリッツへ!」だった。

帝京大4年で日本代表入りし、W杯2大会出場。'23年W杯では4試合すべてで背番号10を背負い、成功率95%の神業、ゴールキックを披露した。昨季はリーグ戦16試合中15試合で先発SOを務め、ワイルドナイスをD1史上初のリーグ戦全勝通過へ牽引。リーグワン元年を制し、続く2シーズンもリーグ戦1位通過を続けていたワイルドナイツ黄金時代の立役者であり日本ナンバーワンの司令塔。その松田が、トップリーグ時代から7季在籍した古巣を離れ、新天地へ――。

「簡単な決断ではありませんでした。今の僕があるのはワイルドナイツのおかげ。素晴らしいチームだし、僕自身大好きなチームです。だけど自分がもっと成長するには、居心地の良いところを離れなきやいけないんじゃないかな。一步踏み出す必要があるんじゃないかと思つたんです」

決断を促したのは'23年のW杯だった。2大

会連続の8強進出をかけて臨んだアルゼンチンとの予選プール最終戦。日本は27-39で敗れたが、後半28分までは2点差の接戦だった。地域獲得率もボール支配率もほぼ五角。

「日本代表として誇れる試合ができると思う。ちょっとしたことが違えば勝てた試合だった。でもそこで勝たせることができなかつた誰かに責められたわけではない。だが「10番」の最大の役目はチームを勝たせること――それは誰よりも松田が強く思つてのことだ。次のW杯のときには、確実にチームを勝利に導ける、圧倒的な10番になつていなささい

けない。そのためにはいろいろなラグビーを知ること、違うラグビーの考え方を学ぶ必要があると思つた」

移籍先には国内外10を超えるチームが候補にあつた。その中からヴエルブリッツを選んだ理由を「姫野がいたのが大きかったです」と松田は明かした。'23年のW杯で日本代表の主将も務めた姫野和樹は帝京大の同期生だ。ことあるたびに「一緒にやろうぜ」「いつ来てくれる?」と松田を誘つていたという。

「姫野はキャプテンになつてすごく成長したと思うし、喋りも上手いけど、ラグビーでは自分のプレーに集中させた方がもつと力を出せるタイプ。ヴエルブリッツでは1年自ら主将を任されて頑張つたけど、内心ではもつと自由にやりたかったと思うし、僕も姫野と一緒にやりたい思いはあった」

松田にとって、ヴエルブリッツは、対戦相手としても脅威だったという。

「選手一人ひとりにインパクトがあつて、勢いに乗ると手がつけられない。隙もあるけど、うまくマネジメントすればすごい力を出す」立場を変え、「ワイルドナイツに勝つラグビーを目指すことも自分を成長させるはず」という松田にとって、料理しがいのある魅力的な素材だ。

チームも強化に本腰を入れている。強化を統括するDOR(ディレクター・オブ・ラグビー)兼ヘッドコーチはニュージーランド代表オールブラックス元監督のステイー・ブ・ハセン。今季は'23年のW杯でオールブラックス監督を務めたイアン・フォスターも共同コーチに加わった。2人は'15年W杯で世界を制した監督&アシスタントコーチ。昨季加入了NZ代表1-2-5キヤップズのSHアーロン・スミスもそのときのメンバーだ。他にも'19年

世界最優秀選手の南アフリカ代表FLビーターステフ・デュトイ、今季はスコットランド代表でW杯3大会出場のスーパー男前LOリ・チー・グレイもやってきた。豪華な補強ぶりにはファンもため息をつく。

ヴエルブリッツが松田を欲した理由。

就任4季目。リーグワン発足時からグラウンド内外とともにチームの整備を続けてきた藤彰友GMは「私が就任したときから5年以内に日本一を、そして将来は世界一のラグビークラブになることを自指しています。それはDORのハンセンとともに共有しています」と語る。そのために「日本で一番クオリティの高い10番に来て欲しかった」と松田獲得への

動機を明かした。「姫野から松田への勧誘は、あくまで友人同士の会話だつたと認識しています(笑)とも。

松田は9月に愛知へ引っ越し、チームに合流、新天地でのシーズンをスタートさせた。「若手も良い選手が多いですね。CTB山口修平、WTB和田悠一郎、SH谷中樹平……ラグビーに対するマジメな選手が多い。新人のFL奥井章仁は身体のサイズはないけどラグビーIQも。プレーの質も高い。姫野と比べられることも分かっている中でリーダーシップを発揮して引っ張ろうとしている。全部が楽しさです」

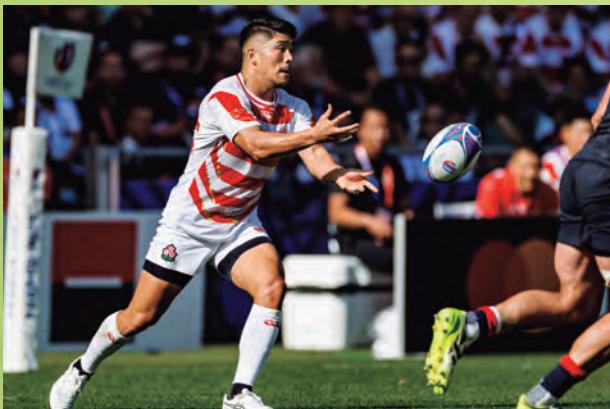
しかし、新天地に身を投じた矢先、松田には厳しい運命が待っていた。オールブラックス、フランス、イングランドという世界トップの強敵などと戦う'24年秋シリーズの日本代表から、まさかの落選――だが、松田はそれを冷静に受け止めていた。

「これで'27年W杯がなくなつたわけじゃない。このチームでリーグワンを戦つて結果を出して、10番として圧倒的な実力を見せればまた日本代表に呼んでもらえるはず。うまくいかない経験も力になりますから」

'23年W杯への道のりも順調ではなかつた。W杯を1年半後に控えた'22年5月、リーグ戦最終戦で左膝前十字靱帯断裂の重傷を負い、同年の国際試合出場はゼロに終わつた。

「ケガなんてしない方がいいはずだけど、体の使い方などケガがあつて成長できたところもある。去年のW杯も、直前までキックがなかなか入らなかつたけど、W杯本番では決めることができましたから」

異なるラグビーに挑むプロセスのすべてが糧になる。'27年W杯へ――松田の挑戦は、リーグワンの持つ多様性の証でもある。 ■



2023年W杯では4試合すべてに先発出場。通算キャップ数は39を数える

2024年5月24日に行われたリーグワン

の入替戦第2節。浦安D-Rocksと花園
近鉄ライナーズの運命が分かれた。

第1節はD-Rocksが21-12で勝利。

ライナーズ側から見れば、第2節で10点差以上をつけて勝たなければディビジョン1(D1)に残留できない。ライナーズは試合開始から果敢に攻め、後半16分までに23-11とリードする。残留可能な点差だった。しかし、ここからD-Rocksが反撃。後半27分に、途中交代で入った竹内柊平のチャージから逆転、最終的には35-30で勝ち、D1昇格を決



入替戦第2節の後半33分、ライナーズを突き放すD-Rocksシェーン・ゲイツのトライ

めた。

今季からヘッドコーチに就任したグレイグ・レイドロー（入替戦当時はコーチ）は、こう振り返る。

「初戦に勝ったことで、前半はプレーに保守的な面が見られました。しかし、後半は選手たちが積極的にプレーしてくれました。最高にハッピーな後半でしたし、チーム一丸になってD1昇格を果たせたこと、これにまさる喜びはありませんでしたよ」

一方、逆転を喫したライナーズの向井昭吾HCは、受け入れがたい敗戦を前にして、自

らの指導を顧みていた。

「みんなを信じていました。必ず勝ってくれるだろうと。終わってみると、私自身の覚悟と徹底が足りなかつた。そう思いました」

12月21日に開幕するリーグワンの新シリーズ、こうしてD-RocksはD1、ライナーズはD2で戦うことになった。昨季の結果を受け、ふたりのヘッドコーチは、どんなプランを描いているのだろうか。向井HCは、こう話す。

「ライナーズには、オーストラリア代表経験を持つSHのウイル・ゲニア、SOのクウェイド・クーパーというふたりの大黒柱がいます。周りの選手からすれば、ふたりは世界的なビッグネームですから、『彼らのプレー選択に間違いはないだろう』という先入観があつた気がします。それが昨季の反省点のひとつ。その結果として、周りの選手たちからの声が少なくなっていました。今季はチームとして声を大切にしていきたいと思っています」

ラグビーはコミュニケーションのスポーツだ。ライナーズの面々からたくさんの方の声が生まれるよう、向井HCは練習だけでなく、食事会や何気ない日常からも、選手同士が話す機会を増やしている。

一方、D1の強豪と戦うことになるレイドローHCは、「ポジティブなラグビーをお見せしたい」と抱負を語る。

「観客のみなさんが、見ていて心を奪われるような、ワクワクするラグビーをお見せしたいですね。D-RocksはD1の他のチームと比べれば体格的には小さいかも知れない。だからこそ、賢くプレーし、面白いラグ

ボールを保持しているときだけでなく、ディフェンスでも相手にアタックする意識を徹底していくと向井HCは選手たちに話している。メンバーを見ると、今季はニュージーランド代表として21キヤップを持つNO8のアキラ・イオアネが加入し、アタックのオプションが増えた。

「昨季までは、NO8がスクラムサイドの突破を図るようなプレーが少なかつたんです。イオアネは推進力をもたらしてくれています。もちろん、彼に頼るのではなく、チーム全員が10%、実力を上積みしていく意識を持つ。これが大切です」

リーグワンに風穴を開ける 北半球のラグビー。

今季のチームスローガンは「All Attack」。ボールを保持しているときだけでなく、ディフェンスでも相手にアタックする意識を徹底していくと向井HCは選手たちに話している。メンバーを見ると、今季はニュージーランド代表として21キヤップを持つNO8のアキラ・イオアネが加入し、アタックのオプションが増えた。

「昨季までは、NO8がスクラムサイドの突破を図るようなプレーが少なかつたんです。イオアネは推進力をもたらしてくれています。もちろん、彼に頼るのではなく、チーム全員が10%、実力を上積みしていく意識を持つ。これが大切です」



Kichi Matsumoto
GREIG LAIDLAW

D1でのプレー、これはもう
ワクワクが止まりません。
この感じをファンと共有したい。

DIVISION
1 Conference A

URAYASU D-Rocks

[入替戦で分かれた明暗]

浦安D-Rocks & 花園近鉄ライナーズ

「希望に満ちたそれぞれの再出発」

昨季のD1↔D2の入替戦での逆転劇を経て、D-Rocksとライナーズは

戦いのステージを変えて今季の開幕を迎えることになった。

明暗分かれた両チームの再出発への決意を、双方のHCが力強く語る。

LEAGUE ONE 2024-25

闘球鳴動、 飛躍の4季目へ

生島淳=文
text by Jun Ikushima



2 DIVISION HANAZONO KINTETSU LINERS



SHOGO MUKAI

全員の気持ちは一致しています。
D2で圧倒的に勝ち、それを
未来のD1での強さにつなげていく。

賢いラグビーを進めるうえで、期待しているのは誰か？ と質問すると……。
「ヘッドコーチの私としては、みんなに活躍してもらわないと困りますよ(笑)。それでも、ツイヘンドリックは経験も豊富ですし、突破力に期待しています。日本代表の活動に参加しているP.R.の竹内柊平は技術に磨きがかかっていて、彼の成長ぶりを誇りに思います。それに、キヤプテンを務めるS.H.の飯沼蓮はリズミカルなアタックを演出してくれるはずです」

12月の開幕に向け、両チームとともに着々と

希望が両チームを満たしている。その思いをピッチの上で表現できるかどうか。ふたりのヘッドコーチの舵取りが始まる。 ■

ビーにつなげていきたいのです」
レイドローH.C.はスコットランド出身。リーグワンには南半球出身の指導者が多いが、北半球で育ったコーチとして「風味」の違うラグビーを見せてくれるのではないか、とう期待がある。

「たしかに北半球には『ディフェンスを制する者が王者になる』という格言があります。D1には昨季王者のブレイブルーパスを筆頭に攻撃力のあるチームがたくさんあります。防御網を整備するのを基軸にしつつ、トライを取り切る場面では全員の集中力を高めていこうと思います」

「ヘッドコーチの私としては、みんなに活躍してもらわないと困りますよ(笑)。それでも、ツイヘンドリックは経験も豊富ですし、突破力に期待しています。日本代表の活動に参加しているP.R.の竹内柊平は技術に磨きがかかっていて、彼の成長ぶりを誇りに思います。それに、キヤプテンを務めるS.H.の飯沼蓮はリズミカルなアタックを演出してくれるはずです」

12月の開幕に向け、両チームとともに着々と

整備は進んでいる。入替戦では明暗が分かれましたが、新しいステージに対する思いの強さは一緒だ。ライナーズの向井H.C.はいう。「もう、昨季のような思いはしたくありません。今季はD1に上がりたいという思いで全員の気持ちは一致していますから、チームの方向性を示しやすい。D2で圧倒的に勝ち、それを未来のD1での強さにつなげていく。それだけです。それに今季勝ち切らなければ、私の居場所はなくなりますから」

一方、レイドローH.C.は新しいシーズンの到来が楽しみで仕方がないという。「D1でのプレー、これはもう、ワクワクが止まりませんよ。選手たちにとって、ラグビーは結果を出さなければならぬ仕事ですが、毎日、練習場にはワクワクしながらつてきて欲しい。私はそういうチームづくりを目指しています。そしてこのワクワクする感じを、ファンのみなさんと共に共有していきたい。そんなラグビーを開拓できたらうれしいですね」

希望が両チームを満たしている。その思いをピッチの上で表現できるかどうか。ふたりのヘッドコーチの舵取りが始まる。 ■

[特集記事]

伝統を継ぐ者

矢崎由高と海老澤琥珀

Number傑作選

名勝負&名選手列伝

スペシャル対談

清宮克幸×田中澄憲

早明戦99回全記録

関東大学ラグビー対抗戦 早稲田大学対明治大学

開催100回記念メモリアルブック

早明戦100回、 猛き攻防の記憶。



特設サイト「SideB」



公式X

SideB with
Sports Graphic
Number

特設サイト「SideB」にて
数量限定発売!

issued by
Sports Graphic
Number スポーツグラフィック ナンバー

今季リーグワンのディビジョン3に新規参入する3チームの中でも、ひときわ異彩を放つのが「ルリーコ福岡」だ。特定の母体企業を持たない地域密着型クラブとして活動する。2022年春の発足から、急ピッチでのリーグワン入りを果たした。

事の発端は、浮羽究真館高校ラグビー部の吉瀬晋太郎監督と、浦和高校ラグビー部でコーチを務めていた島川大輝の出会いだった。「浮羽究真館を日本一にする」と熱く語る吉瀬に人間的魅力を感じた島川は、「20年秋、同校のコーチに転じた。九州の片田舎で指導を始めてほどなく、ある危機感を抱くようになる。

「高校生たちが関東や関西の大学に行ってしまう。彼らが地元に戻って

浮羽究真館高校のグラウンドで、高校生たちの後に行われる全体練習。練習内容によってはクルマのヘッドライトで明かりをとることもある

小規模なクラブチームをつくることも考えたが、「盛り上がる未来が見えづらかった。現状を本気で変えるなら日本一を狙えるようなトップチームをつくるべき」（島川）。そう結論づけると、さっそく行動に移した。

まずは、うきは市の企業を回って協賛を募った。そこで聞こえてきたのは、人手不足に悩む切実な声。「選手たちは働きながらラグビーをしてもらおう」と構想していた島川は「地域の課題解決」と、選手の働き場所の確保。Win+Winの関係性が成立するとの感触を得る。

同じ頃、福岡市を本拠地としていたコカ・コーラレッドスパークスが廃部になるというニュースが飛び込んできた。行き場のない選手がいると知った島川はクラブハウスに乗り込み、「一緒にラグビーをしないか」

と語りかけた。これを機に入団した選手を含む3人が、「22年4月、ルリーコ福岡発足時のメンバー」となった。さらに福岡県宗像市・サニックスブルースも活動を休止。ここでもルリーコが受け皿となり、選手層は着着と厚みを増す。15年W杯の南アフリカ戦で逆転決勝トライを決めたカーラン・ヘスケスも、その一人だ。

精力的に活動する島川らの熱は地区の人々や自治体にも伝播した。「うきはラグビータウンプロジェクト」の名のもと、ルリーコは市と商工会、浮羽究真館高校との4者連携協定を締結。ラグビーを通じた地域活性化に一体的に取り組むこととなつた。

「22年から参戦したトップキュウシユウAリーグでは2連覇。戦績や運営体制などが考慮される最終審査を経て、リーグワン参入が決定した。ルリーコの運営のあり方は非常にユニークだ。まず、普段の練習場所は浮羽究真館高校。すでに70名に達した所属選手の多くが日中は仕事をしており、夕方に学校に集合する。そして、部活を終えた高校生たちと入れ替わるような形で土のグラウンドへと駆け出していくのだ。

事業面では約400社もの協賛パートナーが基盤だが、スポンサー懇親会の経営とは一線を画す。企業とのつながりを生かして地域内外のビジネスマッチングや経営支援を行うほか、フォトスタジオや整骨院などの運営にも乗り出している。ルリーコの代表に就任した島川は言う。

LEAGUE ONE 2024-25 闘球鳴動 飛躍の4季目へ

日比野恭三 文・写真
text and photograph by Kyozo Hibino



Leriro FUKUOKA

3 DIVISION LeRIRO FUKUOKA ルリーコ福岡

[異色の新規参入チーム]

「母体企業に頼らない挑戦」

今季D3に新規参入を果たしたルリーコは、選手がほかに職業を持ちつつプレーする、リーグワンでは異色のチーム。異例の挑戦の背景を探った。

ユウAリーグでは2連覇。戦績や運営体制などが考慮される最終審査を経て、リーグワン参入が決定した。ルリーコの運営のあり方は非常にユニークだ。まず、普段の練習場所は浮羽究真館高校。すでに70名に達した所属選手の多くが日中は仕事をしており、夕方に学校に集合する。そして、部活を終えた高校生たちと入れ替わるような形で土のグラウンドへと駆け出していくのだ。

事業面では約400社もの協賛パートナーが基盤だが、スポンサー懇親会の経営とは一線を画す。企業とのつながりを生かして地域内外のビジネスマッチングや経営支援を行うほか、フォトスタジオや整骨院などの運営にも乗り出している。ルリーコの代表に就任した島川は言う。

方々のチャレンジしたい気持ちがぎゅっと詰まつたチームがルリーコ」。小さな町から、ラグビー界に新たな風が吹き込まれようとしている。■

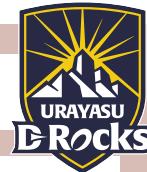


三股(右)と西村の両キャプテン。挑戦を語る表情は明るい

Conference A DIVISION 1

チーム紹介 | ディビジョン1

浦安D-Rocks



新指揮官レイドローが魅せる
タフネス&スマートなラグビー。

悲願のD1初参戦。チーム創設2年目の昨季は、1年前に昇格を阻まれた花園Lに入替戦で雪辱。モールを武器とする愚直なFWスタイルが奏功した。トップ6を狙う今季の新司令官は、2019年W杯で日本と対戦したスコットランドの元主将で、チームOBのグレイグ・レイドロー。新戦力の目玉は南アフリカの大型NO8、190cm、120kgのヤスパー・ヴィーゼ。FWのタフネスを維持しながらスキルを駆使したスマートなラグビーで殴り込みをかける。

HOST GAME SCHEDULE

- 第2節 12月28日(土)
vs. 静岡ブルーレヴズ [えがおS]
- 第3節 1月4日(土)
vs. 横浜キヤノンイーグルス [Jスタ]
- 第7節 2月8日(土)
vs. 三重ホンダヒート [秩父宮]
- 第10節 3月1日(土) or 2日(日)
vs. トヨタヴェルブリッツ 未定
- 第11節 3月14日(金)
vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ [秩父宮]
- 第13節 3月29日(土)
vs. 埼玉ワイルドナイツ 未定
- 第15節 4月12日(土) or 13日(日)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ 未定
- 第16節 4月25日(金)
vs. 東芝ブレイブルーパス東京 東京都内
- 第18節 5月9日(金)
vs. 三菱重工相模原ダイナボアーズ 東京都内

TEAM DATA

- ①2022年 ②D2優勝 ③浦安Dパーク／千葉県浦安市高洲8-2-1 ④千葉県浦安市 ⑤内山浩文 ⑥グレイグ・レイドロー ⑦NTT Sports X

PICKUP PLAYER

竹内柊平

1997年12月9日生、宮崎県出身。活動量が武器の日本代表PR。宮崎工業高、九州共立大からトライアウトで見出された「無名校の星」である。昨季の入替戦では逆転を呼び込むキックチャージでD1昇格に貢献した。183cm、115kg

PR
SHUHEI TAKEUCHI



SO

SEUNG SIN LEE

TEAM DATA

- ①1928年 ②D1・5位 ③コベルコ
神戸スティーラーズラグビーグラウンド
／兵庫県神戸市東灘区御影浜町4
- ④兵庫県神戸市 ⑤弘津英司(チームディレクター) ⑥デイブ・レニー
⑦神戸製鋼所

PICKUP PLAYER

李承信

2001年1月13日生、兵庫県出身。大阪朝高2年で高校代表に選ばれ、2020年に入団。21歳で日本代表デビューを果たす。バス、ラン、キックと三拍子揃うSOとして2023年W杯出場。エディー体制下ではFBでもプレー。176cm、85kg

HOST GAME SCHEDULE

- 第2節 12月29日(日)
vs. 横浜キヤノンイーグルス [エスタ]
- 第5節 1月19日(日)
vs. 浦安D-Rocks [エスタ]
- 第6節 2月1日(土)
vs. ブラックラムズ東京 [ユニバ]
- 第7節 2月8日(土)
vs. 東京サンゴリアス [ユニバ]
- 第9節 2月22日(土)
vs. トヨタヴェルブリッツ [花園]
- 第11節 3月15日(土)
vs. 三重ホンダヒート [ユニバ]
- 第14節 4月6日(日)
vs. 東芝ブレイブルーパス東京 [ユニバ]
- 第16節 4月26日(土)
vs. 三菱重工相模原ダイナボアーズ 未定
- 第18節 5月10日(土)
vs. 静岡ブルーレヴズ 未定

若手が続々と代表入り。

2018年度以来の王座奪取へ。



進境著しい創部96年の企業チーム最古参。元豪州代表HCのデイブ・レニーに歴代最低9位からの脱却を託した昨季は、攻撃力が激増。470だった総得点が647に跳ね上がり、ブレーオフ進出目前の5位に浮上した。攻守のシステムが定着していく体制2年目の今季はティエナン・コストリーら若手が続々と日本代表デビュー。2019、2023年W杯出場の具智元らを擁する選手層が厚みを増した。2018年度以来の王座奪取は決して夢物語ではない。

静岡ブルーレヴズ



迫力アップのセットプレーで
初のブレーク進出なるか。

2024年は茂原隆由、桑野詠真、マロ・ツイタマが日本代表デビュー。強力なスクラムを中心とした看板スタイル「セットプレー・ラグビー」に迫力が増した。指導陣は元日本代表スタッフがずらり。W杯2大会で強化責任者を務めた2季目の藤井雄一郎監督を筆頭に、「スクラムドクター」長谷川慎、鬼のタックル指導で知られるジョン・ドネヒューも名を連ねた。順位は3季連続で8位。充実の指導体制で、狙うは中位脱却、初のブレーク進出だ。

HOST GAME SCHEDULE

- 第1節 12月21日(土)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ [ヤマハ]
- 第5節 1月18日(土)
vs. 東芝ブレイブルーパス東京 [ヤマハ]
- 第6節 2月1日(土)
vs. 東京サンゴリアス [ヤマハ]
- 第10節 3月2日(日)
vs. 三重ホンダヒート 静岡県内
- 第11節 3月15日(土)
vs. 埼玉ワイルドナイツ 静岡県内
- 第12節 3月22日(土)
vs. ブラックラムズ東京 静岡県内
- 第14節 4月6日(土)
vs. 三菱重工相模原ダイナボアーズ 静岡県内
- 第16節 4月27日(日)
vs. 横浜キヤノンイーグルス 静岡県内
- 第17節 5月3日(土)
vs. 浦安D-Rocks 静岡県内

TEAM DATA

- ①1984年 ②D1・8位 ③ヤマハ大久保グラウンド／静岡県磐田市大久保891-106 ④静岡県、⑤山谷拓志(強化部長) ⑥藤井雄一郎 ⑦ヤマハ発動機

PICKUP PLAYER

マロ・ツイタマ

1996年3月23日生、サモア出身。決定力抜群の昨季トライ王。幼少期に移住したニュージーランドから2019年加入。毎季平均10.4トライの活躍で、2024年に日本代表初選出。デビュー戦のカナダ戦で初トライも決めた。182cm、91kg

MALE TUITAMA
WTB



東芝ブレイブルーパス東京



LO
WARNER DEARNS

「接点無双」の昨季王者がリーグワン初の連覇を目指す。

DNAは「接点無双」。激しさを矜持とする前季王者だ。前身のトップリーグで優勝5度の名門は2016年度以降低迷していたが、2019年就任の指揮官トッド・ブラックアダーによる継続強化が突破口に。リーグ元年は4位、翌年は5位だったものの、昨季はNZ代表の司令塔リッチャー・モウンガがMVP受賞の活躍を披露し、若手の主軸化も重なり、14季ぶりに頂点に登り詰めた。今季は主力の流出もなく、リーグ初の連覇を阻むものは油断のみか。

HOST GAME SCHEDULE

第2節	12月29日(日)
vs. 三菱重工相模原ダイナボアーズ	[味スタ]
第3節	1月5日(日)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ	[味スタ]
第4節	1月11日(土)
vs. 浦安D-Rocks	[U等々力]
第8節	2月15日(土)
vs. 東京サンゴリアス	[秩父宮]
第10節	2月28日(金) or 3月1日(土)
vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ	未定
第12節	3月22日(土)
vs. 埼玉ワイルドナイツ	[秩父宮]
第13節	3月30日(日)
vs. 三重ホンダヒート	[ブレド]
第15節	4月12日(土)
vs. 静岡ブルーレヴズ	東京都内
第18節	5月10日(土)
vs. 横浜キヤノンイーグルス	未定

TEAM DATA

- ①1948年 ②D1優勝 ③東芝 芝中事業所敷地内グラウンド／東京都府中市東芝町1 ④東京都、府中市、調布市、三鷹市、川崎市(フレンドリー) ⑤董田真広 ⑥トッド・ブラックアダー ⑦東芝

PICKUP PLAYER
ワーナー・ディアンズ
2002年4月11日生、ニュージーランド出身。14歳で来日し、流経大柏高から2021年入団。同年に19歳で日本代表に衝撃デビューした大器。3年目の昨季は決勝を含む17試合先発で優勝に貢献。2季連続ベスト15を受賞。202cm、124kg



KOTA IWAMURA
SH

三菱重工相模原ダイナボアーズ



TEAM DATA

- ①1971年 ②D1・9位 ③三菱重工相模原グラウンド／神奈川県相模原市中央区田名3000 ④神奈川県、相模原市 ⑤石井晃 ⑥グレン・ディレーニー ⑦三菱重工業

PICKUP PLAYER
岩村昂太
1993年12月7日生、福岡県出身。鋭い長短パスで魅せる大型SH。2016年にトヨタV加入も、出場機会を求めて2021年移籍。翌年主将に就任すると、D1昇格初年度ながら連勝を重ね「ダイナボアーズ旋風」の立役者に。182cm、87kg

HOST GAME SCHEDULE

第1節	12月22日(日)
vs. 浦安D-Rocks	[ギオンズ]
第3節	1月4日(土)
vs. 静岡ブルーレヴズ	[秩父宮]
第4節	1月12日(日)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ	[ギオンズ]
第6節	2月1日(土)
vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ	[ギオンズ]
第7節	2月9日(日)
vs. トヨタヴェルブリッツ	[ギオンズ]
第10節	3月1日(土)
vs. ブラックラムズ東京	[秩父宮]
第11節	3月16日(日)
vs. 東京サンゴリアス	[たけびし]
第15節	4月12日(土)
vs. 横浜キヤノンイーグルス	[かきどまり]
第17節	5月2日(金) or 3日(土) or 4日(日)
vs. 東芝ブレイブルーパス東京	未定

得点力を上積みして再び旋風を巻き起させ!
2027年の日本一を掲げる成長株。リーグ元年にD1昇格を果たすと、2年目は新任のグレン・ディレーニーHC主導で「ダイナボアーズ旋風」を巻き起こし、入替戦でD1残留。3年目の昨季は新アタックシステムが機能して6勝を挙げ、9位決着で初めて入替戦を回避した。さらなるステップアップへ今季は南アフリカ代表のトライゲッター、カート=リー・アレンゼを獲得。堅守のチーム文化に得点力を上積みし、初のプレーオフ進出を目指す。

横浜キヤノンイーグルス



SH
FAF DE KLERK

戦術マニアが仕掛けるスペシャルプレーに要注目。

2020年の沢木敬介監督就任から快進撃。中位を脱出すると、昨季は2季連続の4強進出を果たした。真骨頂は豊かな運動量をベースにしたプレー遂行力。戦術マニアの沢木監督が仕掛ける奇抜なスペシャルプレーも要注目だ。仕留めるBKは豪華絢爛。ファフ・デクラーク、ジェシー・クリエルの南アフリカ代表コンビに加え、司令塔・田村優、パリ五輪7人制代表で主将を務めた石田吉平もアクセントに。狙うは創部以来初となる優勝のみだ。

HOST GAME SCHEDULE

第1節	12月22日(日)
vs. 東芝ブレイブルーパス東京	[日産ス]
第4節	1月11日(土)
vs. 静岡ブルーレヴズ	[ニッパツ]
第5節	1月18日(土)
vs. 三菱重工相模原ダイナボアーズ	[ニッパツ]
第7節	2月8日(土)
vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ	[ニッパツ]
第8節	2月16日(日)
vs. 埼玉ワイルドナイツ	[秩父宮]
第11節	3月15日(土)
vs. ブラックラムズ東京	[秩父宮]
第13節	3月30日(日)
vs. トヨタヴェルブリッツ	[レゾード]
第14節	4月5日(土)
vs. 浦安D-Rocks	東京都内
第17節	5月3日(土) or 4日(日)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ	未定

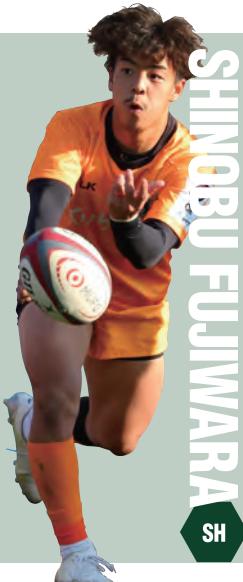
TEAM DATA

- ①1980年 ②D1・4位 ③キヤノンスポーツパーク／東京都町田市小野路町5290-1 ④神奈川県横浜市／大分県(セカンダリー) ⑤井上聖人 ⑥沢木敬介 ⑦キヤノン

PICKUP PLAYER
ファフ・デクラーク
1991年10月19日生、南アフリカ出身。母国代表の主力として2023年のW杯連覇に貢献。2022年に加入した超攻撃型SH。強気の仕掛けでゼロからトライを創出する。タックルにも積極的で小柄ながら守備力はFW並みだ。171cm、80kg

Conference B DIVISION 1

チーム紹介 | ディビジョン1



クボタスピアーズ船橋・東京ベイ



TEAM DATA

①1978年 ②D1・6位 ③クボタ船橋グラウンド／千葉県船橋市栄町2-1
6-1 ④東京都江戸川区、中央区、千葉県市川市、船橋市、千葉市、市原市、成田市 ⑤前川泰慶 ⑥フラン・ルディケ ⑦クボタ

PICKUP PLAYER

藤原忍

1999年2月8日生、大阪府出身。2024年に日本代表デビュー。自在なパスワークで日本の「超速ラグビー」を体現したSHだ。天理大は松永拓朗（BL東京）とハーフ団を組み、2020年度の初の大学日本一に貢献した。171cm、76kg

HOST GAME SCHEDULE

第1節 12月22日(日)
vs. トヨタヴェルブリッツ [秩父宮]
第5節 1月18日(土)
vs. ブラックラムズ東京 [えどりく]
第8節 2月15日(土)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ [えどりく]
第9節 2月22日(土)
vs. 静岡ブルーレヴズ [えどりく]
第12節 3月22日(土)
vs. 横浜キヤノンイーグルス [えどりく]
第13節 3月29日(土)
vs. 三菱重工相模原ダイナボアーズ [えどりく]
第15節 4月13日(日)
vs. 東京サンゴリアス 未定
第16節 4月26日(土)
vs. 三重ホンダヒート 東京都内
第17節 5月3日(土)
vs. 埼玉ワイルドナイツ 東京都内

リクルートは絶好調。
2度目の頂点へ土台は整う。

一昨季にクラブ創設45年で初の日本一。フラン・ルディケHCの7季にわたるマネジメントで、伝統の重戦車FWと有能若手BKが融合した。昨季はケガ人の続出もあって6位に転落。しかし近年の躍進を支えたリクルートは絶好調。2024年度新人は帝京大V3主将の江良颯、準優勝の明治大からは2024年日本代表デビューの為房慶次朗など顔ぶれは「黄金世代」の様相。ルディケ体制も9季目に突入し、2度目の頂点に向けて、土台は整っている。

埼玉パナソニックワイルドナイツ

CTB

DYLAN RILEY

2季連続リーグワン最少失点。
「最強の盾」を誇る初代王者。

2季連続D1最少失点の「最強の盾」を誇る。昨季はレギュラーシーズン全勝も、決勝でBL東京に競り負けて準優勝。今季は最多11人いた2023年W杯日本代表から精神的支柱だった堀江翔太（現役引退）、司令塔の松田力也（トヨタV移籍）が不在に。しかし坂手淳史、山沢拓也らがキャリアの円熟期を迎えて大幅な戦力ダウンは見込まれず、10季目の大台突破となるロビー・ディーンズHC体制は盤石。3季ぶりの王者返り咲きは現実的な目標だ。

HOST GAME SCHEDULE

第2節 12月28日(土)
vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ 熊谷
第4節 1月12日(日)
vs. 三重ホンダヒート 熊谷
第6節 2月1日(土)
vs. 浦安D-Rocks 熊谷
第7節 2月9日(日)
vs. 東芝ブレイブルーパス東京 熊谷
第9節 2月22日(土)
vs. 三菱重工相模原ダイナボアーズ 熊谷
第10節 3月2日(日)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ 熊谷
第14節 4月5日(土)
vs. トヨタヴェルブリッツ 埼玉県内
第16節 4月26日(土)
vs. ブラックラムズ東京 埼玉県内
第18節 5月10日(土)
vs. 東京サンゴリアス 埼玉県内

TEAM DATA

①1960年 ②D1・2位 ③さくらオーバルフォート／埼玉県熊谷市上川上844 ④埼玉県 ⑤栗屋悟 ⑥ロビー・ディーンズ ⑦パナソニック

PICKUP PLAYER

ディラン・ライリー

1997年5月2日生、オーストラリア出身。日本代表不動のスタメンで、国内No.1の13番。2023年W杯は全4試合に出場。2018年に来日し才能開花。昨季は天下一品のスピードで14トライ。3季連続のベスト15を受賞した。187cm、102kg

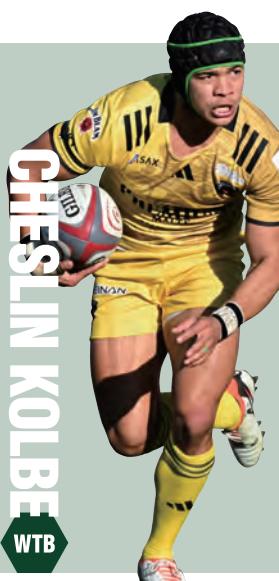


東京サントリーサンゴリアス



捲土重来を期して体制刷新。
「最強の矛」をさらに研ぐ。

超攻撃的スタイルを貫き、「最強の矛」とも称される。しかし昨季は2005年度以来のリーグ戦5敗。2季連続で準決勝敗退の不名誉を味わい、トップリーグ優勝5回の強豪は捲土重来を期して体制刷新。日本人指導者を育成する方針から、2015年W杯日本代表のOB小野晃征を新指揮官に据えた。新人賞受賞の高本幹也など国内出身者の選手層は随一。リーグ最年少37歳のHCは、タレント集団をまとめて2017年度以来の王座奪還を果たせるか。



TEAM DATA

①1980年 ②D1・3位 ③サントリー府中スポーツセンター／東京都府中市是政6-22 ④東京都、港区、府中市、調布市、三鷹市 ⑤田中澄憲 ⑥小野晃征 ⑦サントリーホールディングス

PICKUP PLAYER

チェスリン・コルビ

1993年10月28日生、南アフリカ出身。天下無双のファットワークで敵の防御網を切り裂く世界最高峰のWTB。南アフリカ代表でW杯連覇達成後の2023年に加入。昨季は先発11試合で3トライ。100m走ベストは10.6秒。172cm、77kg

HOST GAME SCHEDULE

第1節 12月21日(土)
vs. 埼玉ワイルドナイツ [味スタ]
第3節 1月4日(土)
vs. トヨタヴェルブリッツ [味スタ]
第4節 1月12日(日)
vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ [秩父宮]
第9節 2月22日(土)or 23日(日)
vs. 浦安D-Rocks 未定
第10節 3月2日(日)
vs. 横浜キヤノンイーグルス [秩父宮]
第12節 3月23日(日)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ [秩父宮]
第13節 3月29日(土)
vs. 静岡ブルーレヴズ [秩父宮]
第14節 4月5日(土)
vs. 三重ホンダヒート 未定
第17節 5月2日(金)or 3日(土)or 4日(日)
vs. ブラックラムズ東京 未定

DIVISION 1

Conference B

text by Masataka Tara



KAZUKI HIMENO
FL

TEAM DATA

- ①1941年 ②D1・7位 ③トヨタスポーツセンター／愛知県豊田市保見町井ノ向57-230 ④愛知県、豊田市、名古屋市、みよし市 ⑤後藤彰友 ⑥スティーブ・ハンセン ⑦トヨタ自動車

PICKUP PLAYER

姫野和樹

1994年7月27日生、愛知県出身。代名詞「ジャッカル」で窮地を救うワールドクラスのFW第3位。帝京大卒業後の1年目から8季連続でチームの主将を務める。自身のYouTubeチャンネルはホラー中心のゲーム配信。187cm、110kg

トヨタヴェルブリッツ



類を見ない超豪華首脳陣。
現状打破、そしてプレーオフへ。

5、6、7。リーグ元年からの順位だ。2023年W杯で日本代表主将だった姫野和樹、NZ代表のアーロン・スマスなど世界的なスターを揃えるが、チームパフォーマンスに波があり、D1中位が定位位置に。今季はNZ代表をW杯連覇(2011、2015年)に導いたスティーブ・ハンセンを指揮官に据え、同代表を23年W杯まで率いたイアン・フォスターを共同コーチに。超豪華「オールブラックス元指揮官コンビ」で現状打破、初のプレーオフ進出を摑みにいく。

HOST GAME SCHEDULE

- 第2節 12月28日(土)
vs. 三重ホンダヒート [長良川]
第4節 1月11日(土)
vs. ブラックラムズ東京 [長良川]
第5節 1月19日(日)
vs. 埼玉ワイルドナイツ [ミクスタ]
第6節 2月1日(土)
vs. 横浜キヤノンイーグルス [豊田ス]
第8節 2月15日(土)
vs. 静岡ブルーレヴズ [長良川]
第11節 3月15日(土)
vs. 東芝ブレイブルーバス東京 [豊田ス]
第12節 3月22日(土)or 23日(日)
vs. 三菱重工相模原ダイナボアーズ 未定
第16節 4月26日(土)or 27日(日)
vs. 東京サンゴリアス 未定
第18節 5月10日(土)
vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ [豊田ス]

HOST GAME SCHEDULE

- 第1節 12月21日(土)
vs. ブラックラムズ東京 [鈴鹿]
第3節 1月5日(日)
vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ [鈴鹿]
第5節 1月19日(日)
vs. 東京サンゴリアス [鈴鹿]
第6節 2月2日(日)
vs. 東芝ブレイブルーバス東京 [鈴鹿]
第8節 2月16日(日)
vs. 三菱重工相模原ダイナボアーズ [鈴鹿]
第9節 2月23日(日)
vs. 横浜キヤノンイーグルス [鈴鹿]
第12節 3月22日(土)
vs. 浦安D-Rocks [鈴鹿]
第15節 4月11日(金)
vs. 埼玉ワイルドナイツ 未定
第17節 5月4日(日)
vs. トヨタヴェルブリッツ [鈴鹿]

TEAM DATA

- ①1961年 ②D1・11位 ③Honda アクティブランド／三重県鈴鹿市住吉町6731-2 ④三重県 ⑤前田芳人 ⑥キアラン・クローリー ⑦本田技研工業

PICKUP PLAYER

北條拓郎

2001年9月18日生、長野県出身。絶妙パスでトライを生み出す。世界的名将クロリー・HCLも絶賛する新人SH。天理大で主将を務め、そのカリスマ性は高く評価されていた。今季新人ながらチームのリーダー陣に抜擢。173cm、79kg

NAKURO HOJO
SH



TEAM DATA

- ①1953年 ②D1・10位 ③リコーグラウンド／東京都世田谷区宇奈根1-5-1 ④東京都、世田谷区 ⑤西辻勤 ⑥タンパイ・マットソン ⑦リコー

PICKUP PLAYER

アイザック・ルーカス

1999年2月11日生、オーストラリア出身。ディフェンス突破数86は昨季のD1トップ。唯一無二の打開力を持つ2020年加入のラインプレイヤー。スキルも豊富で10番、15番をカバー。愛称「ミルキー」は白い肌が由来。180cm、85kg

リコーブラックラムズ東京



最強モチベーターが加入。
現実味が増すトップ6入り。

飛躍の可能性を大いに秘める。昨季は入替戦に回ったが、第2節で鉄壁のディフェンスとフィジカルの強さを発揮して55-0と完封。今季は2020年度のNTTドコモ躍進を主導したNZ代表のTJ・ペレナラが加入。最強モチベーターが参戦した上、7人のルーキーは即戦力。2年目の司令塔・中楠一期も日本代表に初招集された。マスコット「ラムまる」はチームよりお先にファン投票1位を経験。急拡大する選手層を追い風に、トップ6へと迫る。



ISAAC LUCAS
SO

HOST GAME SCHEDULE

- 第2節 12月28日(土)
vs. 東京サンゴリアス [秩父宮]
第3節 1月4日(土)
vs. 埼玉ワイルドナイツ [駒沢]
第7節 2月8日(土)or 9日(日)
vs. 静岡ブルーレヴズ 未定
第8節 2月15日(土)or 16日(日)
vs. 浦安D-Rocks 未定
第9節 2月22日(土)
vs. 東芝ブレイブルーバス東京 [秩父宮]
第13節 3月30日(日)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ [秩父宮]
第14節 4月6日(日)
vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ 東京都内
第15節 4月13日(日)
vs. トヨタヴェルブリッツ 未定
第18節 5月11日(日)
vs. 三重ホンダヒート 未定

DIVISION 2

チーム紹介 | ディビジョン2

NECグリーンロケッツ東葛



PR SUNAO TAKIZAWA



D1復帰に必要な 肉弾戦へのプライド。

再興期の途上にある。一昨季にD2陥落。昨季は1季でのD1復帰がテーマだったが、衝突強度で劣勢となり、BR東京との入替戦で大敗。四半世紀前は日本選手権を連覇(2004、2005年度)した国内最強クラスのFWチームだった。就任2季目となる元ウェールズ代表HCの名将ウェイン・ピヴァックの下、肉弾戦へのプライドは甦るか。ホストエリア東葛(千葉北西部)周辺におけるチーム浸透度は高く、ホスト会場「柏の葉」の熱狂度は屈指だ。

HOST GAME SCHEDULE

- 第3節 1月11日(土)
vs. 日野レッドドルフィンズ 柏の葉
- 第5節 2月2日(日)
vs. 花園近鉄ライナーズ 柏の葉
- 第6節 2月22日(土)
vs. 清水建設江東ブルーシャークス 柏の葉
- 第7節 3月1日(土)
vs. 九州電力キューデンウォルテクス 柏の葉
- 第10節 3月29日(土)
vs. 日本製鉄釜石シーウェイブス 柏の葉
- 第12節 4月19日(土)or 20日(日)
vs. 豊田自動織機シャトルズ愛知 未定
- 第14節 5月9日(金)or 10日(土)or 11日(日)
vs. レッドハリケーンズ大阪 未定

TEAM DATA

- ①1985年 ②D2・3位 ③NEC我孫子グラウンド／千葉県我孫子市日の出1131 ④千葉県我孫子市、柏市、松戸市、流山市、野田市、鎌ヶ谷市、印西市、白井市 ⑤太田治 ⑥ウェイン・ピヴァック ⑦日本電気

PICKUP PLAYER

瀧澤直

1986年9月30日生、愛知県出身。2023年にチーム150試合出場達成。古豪NECの誇りを体現するレジェンド・トップ。早稲田大卒業後の2010年にリクルート入社も、社会人選手の夢を追って3カ月で退社し同年入団。175cm、115kg

WTB

AKIHIKO YAMADA



TEAM DATA

- ①1951年 ②D2・5位 ③九州電力
香椎競技場／福岡県福岡市東区松香台1-4-1 ④福岡市／九州全域
(フレンドリー) ⑤中尾憲仁 ⑥今村友基(HC) ⑦九州電力

PICKUP PLAYER

山田章仁

1985年7月26日生、福岡県出身。2015年W杯サモア戦で“忍者トライ”。タレント性抜群でチームの広告塔役も担当。2022年に加入。昨季記録した102本目でトライ歴代単独2位に。実家は北九州市の呉服店を営む。180cm、80kg

九州電力キューデンウォルテクス



アタックを改善して 九州男児の意地を見せる。

九州男児が大多数。猛る血潮と固い絆で粉骨碎身し、接戦に持ち込む守備型チームだ。D2初参戦の昨季は5位で入替戦を回避。課題は昨季D2最少162得点だったアタックだ。昨季加入のSHスペンサー・ジーンズ、横浜Eから移籍のSO喜連航平は起爆剤となれるか。近年は九州出身者のリクルートが好調。今季は大学王者・帝京から熊本出身のPR上杉太郎らが加入。前身のトップリーグは5季経験。国内トップ(D1)への返り咲きを狙う。

HOST GAME SCHEDULE

- 第1節 12月21日(土)
vs. 日本製鉄釜石シーウェイブス ベススタ
- 第3節 1月11日(土)
vs. 豊田自動織機シャトルズ愛知 ミクスタ
- 第6節 2月22日(土)
vs. 花園近鉄ライナーズ かきどまり
- 第8節 3月15日(土)
vs. グリーンロケッツ東葛 博多陸
- 第9節 3月23日(日)
vs. レッドハリケーンズ大阪 えがおS
- 第11節 4月11日(金)or 12日(土)or 13日(日)
vs. 日野レッドドルフィンズ 九州圏内
- 第13節 5月3日(土)or 4日(日)
vs. 清水建設江東ブルーシャークス 九州圏内

TEAM DATA

- ①1976年 ②D3・2位 ③荏田グラウンド／神奈川県横浜市都筑区荏田南町741 ④東京都江東区 ⑤瀧川広一 ⑥仁木啓裕 ⑦清水建設

PICKUP PLAYER

リマ・ソポアンガ

1991年2月3日生、ニュージーランド出身。オールブラックスの司令塔も務めた世界的10番。自在なラン、パス、キックで突破口を開く。2023年はサモア代表でW杯初出場。日本での面白体験を発信するSNSが人気だ。175cm、92kg

清水建設江東ブルーシャークス



SO LIMA SOPOANGA

ハードワークを発揮して 「エレベーターチーム」脱却へ。

戦術眼に長けるベテランが多く、試合中の修正力が光る。社業両立をモットーとしておりハードワークが根付いている。母体は清水建設だが、2001年からクラブチーム制を採用しており、選手の背景は多様。清水建設社員、昨季D3MVPのコンラッド・パンワイクらプロの他、戦力外通告後に親会社に勤めながらプレーする再挑戦組も在籍する。リーグワン初年度からD2とD3間を行き来しており、「エレベーターチーム」脱却はなるか。

HOST GAME SCHEDULE

- 第2節 12月28日(土)
vs. 九州電力キューデンウォルテクス 夢の島
- 第3節 1月11日(土)
vs. 日本製鉄釜石シーウェイブス 夢の島
- 第5節 2月8日(土)
vs. 豊田自動織機シャトルズ 夢の島
- 第8節 3月15日(土)
vs. 花園近鉄ライナーズ 夢の島
- 第10節 3月29日(土)
vs. レッドハリケーンズ大阪 夢の島
- 第11節 4月12日(土)or 13日(日)
vs. グリーンロケッツ東葛 未定
- 第14節 5月10日(土)or 11日(日)
vs. 日野レッドドルフィンズ 未定

DIVISION 2

text by Masataka Tara

豊田自動織機シャトルズ愛知

最強スクラムと司令塔のタクトで待望の昇格なるか。

D2最強クラスのスクラムを武器に、待望のD1昇格に懸ける。昨季は再加入したSOフレディー・バーンズが大当たり。強力FWと若手BKの能力を引き出し、チームを初のD2レギュラーシーズン2位に導いた。入替戦では三重Hに昇格を阻まれたが、今季は選手の出入りが例年より少なく、継続的成長が見込まれる。また、国内出身選手の育成が強化の大きな柱。昨季は高卒ルーキー高島來亜が最年少出場記録（18歳8ヶ月17日）を更新した。



TEAM DATA

- ①1984年 ②D2-2位 ③豊田自動織機 逢妻グラウンド／愛知県刈谷市 逢妻町1-59-1 ④愛知県 ⑤金田拓也 ⑥徳野洋一 ⑦豊田自動織機

PICKUP PLAYER

フレディー・バーンズ
1990年5月13日生、イングランド出身。卓越したゲームメイクで攻撃力を最大化する「ザ・司令塔」。昨季、2020年度以来2度目の加入。多彩なスキルを駆使してヒーロー的活躍を連発。イングランド代表5キャップ。183cm、90kg



RYUJI ABE
WTB

日本製鉄釜石シーウェイブス

TEAM DATA

- ①2001年 ②D2-6位 ③釜石市球技場（松倉グラウンド）／岩手県釜石市甲子町第10地割159-4 ④岩手県釜石市 ⑤桜庭吉彦 ⑥須田康夫 ⑦日本製鉄

PICKUP PLAYER

阿部竜二
1999年9月23日生、岩手県出身。昨季は入替戦で「救世主」級の活躍。地元岩手開催だった第1節は60m独走トライで逆転を呼び、第2節は猛タックルでWG昭島のトライを阻止。D2残留に大貢献した俊敏ランナーだ。167cm、77kg



HOST GAME SCHEDULE

- 第2節 12月28日(土) vs. グリーンロケッツ東葛 [釜石復興]
- 第4節 1月25日(土) vs. 花園近鉄ライナーズ [ハワスタ]
- 第7節 3月8日(土) vs. レッドハリケーンズ大阪 [釜石復興]
- 第8節 3月15日(土) vs. 日野レッドドルフィンズ [いわスタ]
- 第11節 4月12日(土) vs. 豊田自動織機シャトルズ愛知 [釜石復興]
- 第12節 4月20日(日) vs. 清水建設江東ブルーシャークス 岩手県内
- 第14節 5月11日(日) vs. 九州電力キューデンウォルテクス 岩手県内

際立つ土俵際の強さ。D1昇格へ毎年進化。

2季連続で入替戦での「ヒヤヒヤ残留」を果たした。岩手県釜石市を拠点とする東北の星は土俵際に滅法強い。展開攻撃が特長のアタックチームで、宮城県出身のSH村上陽平主将、23歳のSO落和史のハーフ団は将来有望。昨季は弱点だった衝突の弱さも克服。D1昇格へ毎年進化を遂げている。前身は日本選手権V7の新日鐵釜石で、全国に根強いファンを持つ。兼業選手は地元企業や市役所などに勤めており、地域密着度はリーグ指折りだ。

いてまえアタック炸裂! 最大の課題はディシプリン。

高校ラグビーの聖地「花園」が拠点の古豪。特長はリズムに乗ると攻撃力が増大する「いてまえアタック」。課題は昨季201とD1最多の反則数。入替戦では規律の乱れが響き、2季守ったD1の座を浦安DRに奪われた。D1復帰への本気度は補強に見て取れる。NZ代表経験者の大物アキラ・イオアナ、元トヨタVのSO丸山凜太朗や東京SGからFB雲山弘貴ら若手有望株も加入。元日本代表監督・向井昭吾HCは手腕が問われる勝負の2季目を迎える。

花園近鉄ライナーズ

HOST GAME SCHEDULE

- 第1節 12月21日(土) vs. 豊田自動織機シャトルズ愛知 [花園]
- 第3節 1月11日(土) vs. レッドハリケーンズ大阪 [花園]
- 第7節 3月1日(土) vs. 清水建設江東ブルーシャークス [花園]
- 第9節 3月22日(土) vs. 日本製鉄釜石シーウェイブス [花園]
- 第10節 3月29日(土) vs. 日野レッドドルフィンズ [花園]
- 第12節 4月18日(金) or 19日(土) vs. 九州電力キューデンウォルテクス 大阪府内
- 第13節 5月2日(金) or 3日(土) vs. グリーンロケッツ東葛 大阪府内

TEAM DATA

- ①1929年 ②D1-12位 ③東大阪市花園ラグビー場／大阪府東大阪市 松原南1-1-1 ④東大阪市、大阪府 ⑤前田隆介 ⑥向井昭吾 ⑦近鉄グループホールディングス

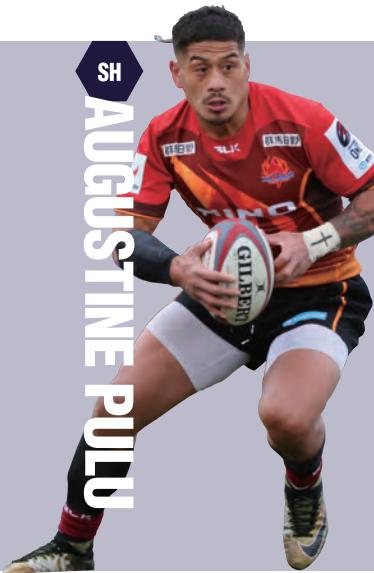
PICKUP PLAYER

クウェイド・クーパー
1988年4月5日生、ニュージーランド出身。移住した豪州で代表80キャップを重ねた天才机。2019年に加入し「キング」の存在感を發揮。日本文化の爱好者で自身が立ち上げた服飾ブランドを「SHOSAI」（詳細）と命名。187cm、92kg



SO





TEAM DATA

①1950年 ②D3優勝 ③日野自動車総合グラウンド／東京都日野市新町5-18-1 ④東京都日野市、八王子市および周辺地域 ⑤中園真司(チームディレクター) ⑥苑田右二 ⑦日野自動車

PICKUP PLAYER

オーガスティン・プル

1990年1月4日生、ニュージーランド出身。母国で7人制&15人制代表を経験し、2023年W杯はトンガ代表で出場。対人に強い世界標準の大型スクラムハーフだ。2018年加入の古株で、共同主将も経験。一男三女の父。181cm、93kg

日野レッドドルフィンズ



可能なトライゲッターが揃う。
“トントン”拍子で昇格なるか。

勢いのあるアタックでトライを量産。攻撃志向が高い。パリ五輪7人制代表のWTB福士萌起、昨季9トライのHO谷口永遠など有能なトライゲッターを擁する。昨季は開幕9連勝で早々にD2昇格を掴んだ。拠点である東京都日野市などでの普及活動に積極的で、2018年には地域密着の観点よりチーム名から企業名(日野自動車)を外してラグビー界に新境地を拓いた。就任2季目の苑田右二HCのもと、群雄割拠のD2を“トントン”拍子で勝ち進めるか。

HOST GAME SCHEDULE

第1節 12月22日(日)
vs. 清水建設江東ブリーサークス [太田市陸]
第2節 1月5日(日)
vs. 花園近鉄ライナーズ [えどりく]
第4節 1月18日(土)
vs. 九州電力キューデンヴォルテクス [AGFフィー]
第5節 2月1日(土)
vs. 日本製鉄釜石シーウェイブス [AGFフィー]
第9節 3月23日(日)
vs. グリーンロケッツ東葛 [太田市陸]
第12節 4月19日(土)or 20日(日)
vs. レッドハリケーンズ大阪 未定
第13節 5月3日(土)or 4日(日)
vs. 豊田自動織機シャトルズ愛知 未定

レッドハリケーンズ大阪



待望の入替戦出場へ。

D2で“下剋上”を目指す。

不屈の精神でD1復帰を目指す。2021年度は前身のトップリーグで8強入りを果たした。しかしNTTのチーム再編により多くの外国人選手が去り、2022年度にD3から再出発。圧倒的な地力を見せつけ昇格したが、D2初参戦の昨季は前季1試合平均6.3だったトライ数が2.7に減少。上位3チームに全敗し、4位となる洗礼を浴びた。今季は入替戦出場圏内の2位以内が目標。2チーム増の「D2戦国時代」を生き抜き、D1挑戦権獲得を目指す。

HOST GAME SCHEDULE

第1節 12月22日(日)
vs. グリーンロケッツ東葛 [ヤンマーS]
第4節 1月18日(土)
vs. 清水建設江東ブリーサークス [ヤンマーS]
第5節 2月9日(日)
vs. 九州電力キューデンヴォルテクス [ヤンマーS]
第6節 2月22日(土)
vs. 日野レッドドルフィンズ [ヤンマーS]
第8節 3月15日(土)
vs. 豊田自動織機シャトルズ愛知 長居公園内
第11節 4月11日(金)or 12日(土)or 13日(日)
vs. 花園近鉄ライナーズ 大阪府内
第13節 5月2日(金)or 3日(土)or 4日(日)
vs. 日本製鉄釜石シーウェイブス 大阪府内

TEAM DATA

①1993年 ②D2・4位 ③ドコモ大阪南港グラウンド／大阪府大阪市住之江区南港北1-9-9 ④大阪府大阪市 ⑤高野一成 ⑥松川功 ⑦NTTドコモ

PICKUP PLAYER

杉下暢

1992年5月4日生、京都府出身。立命館高2年の時に野球部から転向。2015年にNTTドコモ入社。チーム再編後の2022年度、未経験だった主将に就任。転換期のチームをD2昇格に導いた。主将3季目となるハードマン。184cm、108kg

COLUMN



南半球4カ国によるザ・ラグビーチャンピオンシップでプレーするヤスミン・ヴィッセ。通算キャップ数は32(11月11日時点)

大物外国人選手の華麗な競演
今季リーグワンの「ワールドクラス」概況

text by Takayuki Fuchi

アーロン・スマス、ボーデン・バレット、ピーターステフ・デュトイ、チエスリン・コルビ……W杯直後の開催となつた昨季のリーグワンには、ニュージーランドと南アフリカを中心、世界中から代表クラスのスター選手が集結した。今季はバレットなど数人が移籍したが、そのほとんどが所属チームに残留し、ワールドクラスのプレーを披露してくれる。そして今季も活躍が期待される新加入選手が大勢いる。NZ代表からはNO8アキラ・イオアネ(ライナーズ)や、再来日となるSHのT.J.ペレナラ(ラグクラムズ)らが加入。南アフリカ代表組はNO8/FLのヤスパー・ヴィー(=D-Rocks)、WTB/Oリッヂ(=D-Rocks)、WTB/FBのカートリリー・アレンゼ(=ダービーボアーズ)らが来日する。ほかにもスコットランド代表のソーリース・パッチェル(グリーンロケッツ)など注目選手は多数。昨季に続き毎週ドリームゲームが見られそうだ。

才能あふれる 今季注目の若手たち。

日本ラグビーの進化の象徴とも言えるのが、才能豊かな若手の躍動だ。
近い将来、日本代表の屋台骨となるであろう彼らのプレーに注目せよ！

LEAGUE ONE 2024-25
闘球鳴動、
飛躍の4季目へ

田村一博=文
text by Kazuhiro Tamura

豊かな才能の持ち主は10代のうちリーグワンへ。そんな声が大きくなる中、大学ラグビーも捨てたものじゃない。2022-23シーズンから導入されたアーリーエントリー制度で、大学ラグビーの活動を終えた選手が、すぐにリーグワンで活躍することも少なくない。

同制度導入から2季が経ち、若い世代の台頭が目立つ。制度導入前年に早大から埼玉パナソニックワイルドナイツに加わった長田智希（'22年春入社／CTB・WTB）は、日本代表に欠かせぬ存在となっている。アーリーエントリー導入初年度に飛び出した選手のひとりが、コベルコ神戸スティーラーズのティエナン・コストリーだ（FL・NO.8）。環太平洋大から初めてトップレベルに挑むニュージーランダー。エディー・ジョーンズHC率いる日本代表に選出され、国際経験を積み上げ始めた。走力◎。流暢な日本語にも耳を傾けてほしい。この国が好きだ。

コストリーと同じタイミングでリーグワンに活躍の舞台を移し、すぐ静岡ではSOを任せられたのが静岡ブルーレヴズの家村健太。京産大時代は10番、12番でプレーしていた若者は、静岡ではSOを任せられてチームを動かしている。日本代表の候補にも入った動ける10番は昨シーズン終盤は怪我で欠場も、コンディショニングが整えば再び魅力的に動き出す。

東京サントリーサンゴリアスの高

本幹也（SO／帝京大卒）は加入後10ヶ月の準備期間を経てデビュー。昨季いきなりプレーOFFも含む18戦すべてに10番を付けて出場した。左足のキックも巧く、170cmと小柄ながら日本代表候補にも入った。

昨季のアーリーエントリー組には期待の才能が大勢いる。

ブルーレヴズではショーン・ヴェーテー（P.R）・ヴェティ・トゥポウ（LO）がすぐにパンチ力あるプレーを見せた。それぞれ、環太平洋大、摂南大の出身だけに大学シーンで広く知られることはなかつたが、2024-25シーズンも相手チームオリ・オールブラックスとの2戦含め、代表キャップ7を得た。フィジカリティーの強さをスクラム、タ

だ。特にゴールライン前での突破力は両選手とも高い。

最も大きな飛躍を見せてているのはクボタスピアーズ船橋・東京ベイの為房慶次朗（PR）だろう。明大で大学選手権準優勝の成績を残した後スピアーズに加わり、シーズン終了までに5戦に登場。先発は1試合だけだったが、日本代表に選ばれた。イングランド代表戦で初めてテストマッチに登場すると、日本代表が今季戦ったパシフィックネーションズカップまでの全9試合に登場（マジカルティーの強さをスクラム、タ

ン・コストリーだ（FL・NO.8）。環太平洋大から初めてトップレベルに挑むニュージーランダー。エディー・ジョーンズHC率いる日本代表に選出され、国際経験を積み上げ始めた。走力◎。流暢な日本語にも耳を傾けてほしい。この国が好きだ。

コストリーと同じタイミングでリーグワンに活躍の舞台を移し、すぐ静岡ではSOを任せられたのが静岡ブルーレヴズの家村健太。京産大時代は10番、12番でプレーしていた若者は、静岡ではSOを任せられてチームを動かしている。日本代表の候補にも入った動ける10番は昨シーズン終盤は怪我で欠場も、コンディショニングが整えば再び魅力的に動き出す。

東京サントリーサンゴリアスの高

ツクリに生かすプレーで、スピアーズ季目も存在感を示しそうだ。

スピアーズには同期加入の江良颯（HO）もいる。主将として帝京大を大学王者に導いたのが1月。2月にはスピアーズで、チーフス（スコラグビー）と戦ったクロスボーダーラグビーの試合に登場。リーグ

ワンでは6戦を経験後に怪我で戦列を離れたが、順調に回復中と聞く。

ピッチに戻れば活躍は固い。

三重ホンダヒートの北條拓郎（S.H／天理大卒）も昨季デビューし、シーズン終盤に8戦出場（入替戦2戦含む）を果たした。9番を背負い、高速テンポでチームを動かしたパフォーマンスで、大型補強を施したチームを勢いにのせられるか。

横浜キヤノンイーグルスの武藤ゆらぎ（SO／東海大卒）も、アーリーエントリーから3試合だけの出場だったが、独特的の間合いで抜くプレーとゲーム運びの楽しげで非凡さを感じさせた。

全身バネの埼玉パナソニックワイルドナイツの谷山隼大（NO.8・CTB／筑波大卒）、トヨタヴエルブルックスの両FL、奥井章仁（帝京大卒）と三木皓正（京産大卒）が、それぞれ気の利くプレーとハードタックルを武器にデビューするのも待ち遠しい。



(左上から時計回りに) ワイルドナイツの長田、スティーラーズのコスフリー、スピアーズの為房、ヒートの北條

リーグワンが日本ラグビーの未来を映す鏡だとしたら、そこに映る未来は悪くない。

DIVISION 3

チーム紹介 | ディビジョン3

クリタウォーターガッシュ昭島

ランニングラグビーを磨いて
待望の初優勝のチャンス到来。

ランニングラグビーでトライを狙う。社業との両立で鍛えられたタフネス、粘り強い守備も伝統だ。昨季は釜石SWとの入替戦に連敗して昇格を逃したが、今季は上位陣(日野RD、江東BS)がD2へ昇格し、D3初優勝のチャンス到来。昨季チームトップの6トライを記録したWTBホセア・サウマキが抜けた穴をどう埋めるかは課題だろう。入替戦2試合で26回のペナルティがあった規律面も要改善。2年目のCTB松島聰ら有望若手の成長に期待が懸かる。

HOST GAME SCHEDULE

- 第2節 12月28日(土)
vs. ヤクルトレビンズ戸田 [荻野]
- 第4節 1月19日(日)
vs. ルリー口福岡 [AGFフィー]
- 第5節 2月1日(土)
vs. 中国電力レッドグリオーンズ [荻野]
- 第7節 2月22日(土)
vs. スカイアクティブズ広島 [AGFフィー]
- 第10節 3月22日(土)
vs. 中国電力レッドグリオーンズ [AGFフィー]
- 第11節 3月29日(土)
vs. スカイアクティブズ広島 [荻野]
- 第13節 4月19日(土)or 20日(日)
vs. ルリー口福岡 未定
- 第15節 5月10日(土)or 11日(日)
vs. 狹山セコムラガツ 未定

TEAM DATA

- ①1962年 ②D3・3位 ③栗田工業 昭島グラウンド／東京都昭島市代官山2-7-1 ④東京都昭島市 ⑤森勝己 ⑥ワイクリフ・パールー ⑦栗田工業



FL
No.8

TEVITA OTO



KOKI IDA
FL

TEAM DATA

- ①1985年 ②トップイーストA2位 ③セコムラグビーフィールド／埼玉県 狹山市柏原富士塚308-1 ④埼玉県狭山市 ⑤山中善紀(部長) ⑥スコット・ピアス ⑦セコム

PICKUP PLAYER

飯田光紀

1999年9月30日生、山梨県出身。入団2年目で主将を託された生粋のリーダー。山梨・日川高では副将を務め主将はSH飯沼蓮(浦安DR)だった。日大でも主将を務めた。チームのハードワーク文化を体現するタッカー。168cm、85kg

HOST GAME SCHEDULE

- 第1節 12月22日(日)
vs. クリタウォーターガッシュ昭島 [足利陸]
- 第2節 12月29日(日)
vs. スカイアクティブズ広島 [JITSU]
- 第3節 1月11日(土)
vs. ルリー口福岡 [栃木グ]
- 第6節 2月15日(土)
vs. クリタウォーターガッシュ昭島 [足利陸]
- 第9節 3月8日(土)
vs. 中国電力レッドグリオーンズ [足利陸]
- 第10節 3月15日(土)or 16日(日)
vs. ヤクルトレビンズ戸田 未定
- 第11節 4月5日(土)or 6日(日)
vs. ルリー口福岡 未定
- 第14節 5月3日(土)or 4日(日)
vs. ヤクルトレビンズ戸田 未定

高評価で参入を勝ち取った トップリーグ初代メンバー。

前身のトップリーグの初代メンバーでもある今季参入組。2006年度にトップイーストへ降格すると、2年後に強化中止となり、社員有志で再スタート。2016年の親会社セコムでのシンボリックチーム認定が転機となり、2023年度に3地域社会人リーグの王者に輝くと、財務・戦績で最高9点の評価を受けてリーグワン参入を勝ち取った。どんな局面でも決して諦めないハードワークが信条。パリ五輪7人制代表の野口宜裕ら好ランナーも多い。



中国電力レッドグリオーンズ

社員選手主体の企業チーム。
現状打開のカギは攻撃力増強。

堅守をベースにロースコアに持ち込むディフェンス型のチーム。2020年に解散したサンウルブズ(スーパーラグビーに参戦)の元主将エドワード・カークら守備の名手が多く在籍する。昨季は1勝10敗1分でD3最下位(5位)に終わったが、失点の少なさはD3で3番目だった。現状打開のカギはアタック、得点力の増強だ。今季は豪プロチームを経験した海外2選手を獲得。社員選手主体の企業チームを活性化させ、上位進出を目指す。

HOST GAME SCHEDULE

- 第1節 12月21日(土)
vs. スカイアクティブズ広島 [バルコムS]
- 第4節 1月19日(日)
vs. 狹山セコムラガツ [みらスタ]
- 第7節 2月22日(土)
vs. ヤクルトレビンズ戸田 [バルコムS]
- 第8節 3月2日(日)
vs. ルリー口福岡 [福通Rス]
- 第11節 4月5日(土)or 6日(日)
vs. ヤクルトレビンズ戸田 未定
- 第13節 4月19日(土)or 20日(日)
vs. 狹山セコムラガツ 未定
- 第14節 4月26日(土)or 27日(日)or 5月3日(土)or 4日(日)
vs. クリタウォーターガッシュ昭島 未定

TEAM DATA

- ①1991年 ②D3・5位 ③中国電力坂グラウンド／広島県安芸郡坂町平成ヶ浜4-1-73 ④広島県／中国地方全域(フレンドリー) ⑤脊川穂 ⑥岩戸博和 ⑦中国電力



PICKUP PLAYER

森山皓太

1993年11月29日生、京都府出身。選手間で最強タッカーを選ぶ「ゴールデンショルダー」を2度受賞した守備職人。今季は攝南大の後輩でもある弟・迅都が新加入。末弟・飛翔は帝京大2年で日本代表招集の逸材。186cm、110kg



KOTA MORIYAMA
LO

DIVISION 3

text by Masataka Tara

マツダスカイアクティブズ広島



SKYACTIVS
HIROSHIMA



昨季大活躍の司令塔の能力を
さらに生かしてD2復帰なるか。

積極強化で戦力拡大中。スカウトに定評があり、昨季は元神戸SのSOボーディン・ワッカが大爆発。シーズン4勝に大きく貢献した。ピッチ外では中国RRとの広島ダービー3試合で合計1万人動員を目指すプロジェクトを成功させるなどステップアップの年に。今季は元7人制日本代表HCのダミアン・カラウナを指揮官に招いて強化へ本腰。新規3チームにリーグワン基準の強度を示し、2022年シーズン以来のD2復帰を引き寄せたい。

HOST GAME SCHEDULE

- 第3節 1月11日(土)
vs. クリタウォーターガッシュ昭島 [バルコムS]
第4節 1月19日(日)
vs. ヤクルトレビンズ戸田 [バルコムS]
第6節 2月15日(土)
vs. 中国電力レッドレグリオンズ [バルコムS]
第8節 3月1日(土)
vs. 狹山セコムラガツ [福通Rス]
第10節 3月22日(土)
vs. ルリーコ福岡 [バルコムS]
第12節 4月12日(土)or 13日(日)
vs. 狹山セコムラガツ 未定
第13節 4月19日(土)or 20日(日)
vs. ヤクルトレビンズ戸田 未定
第15節 5月10日(土)or 11日(日)
vs. 中国電力レッドレグリオンズ 未定

TEAM DATA

- ①1963年 ②D3・4位 ③マツダトレーニングセンター鯛尾グラウンド／広島県安芸郡坂町鯛尾2-6 ④広島県 ⑤大田和成 ⑥ダミアン・カラウナ ⑦マツダ

PICKUP PLAYER

ボーディン・ワッカ

1994年1月27日生、ニュージーランド出身。母国NZの7人制代表経験がある。2020年から3年間アメリカでプレーし、2022年リーグMVPに選出された万能型BK。加入1年目の昨季はD3断トツの前進距離724mを叩き出した。180cm、91kg



MASASHI OGAWA
LO

TEAM DATA

- ①1980年 ②トップイーストA優勝
③ヤクルト戸田総合グラウンド／埼玉県戸田市美女木4638-1 ④埼玉県戸田市／群馬県前橋市(セカンダリー予定) ⑤柳良昌利(部長) ⑥高安勇太朗 ⑦ヤクルト本社

PICKUP PLAYER

小川正志

1996年1月18日生、長崎県出身。空中戦得意とするロックだが、バックロー並のボール争奪力も併せ持つ。同じ社員選手のSH多田潤平と共同主将を務める。帝京大学で同期のHO堀越康介(東京SG)らとV9を経験。184cm、97kg

HOST GAME SCHEDULE

- 第3節 1月12日(日)
vs. 中国電力レッドレグリオンズ [栃木ク]
第5節 2月2日(日)
vs. 狹山セコムラガツ [敷島]
第6節 2月16日(日)
vs. ルリーコ福岡 [大田市陸]
第8節 3月1日(土)
vs. クリタウォーターガッシュ昭島 [AGF斐]
第9節 3月8日(土)or 9日(日)
vs. スカイアクティブズ広島 未定
第12節 4月12日(土)or 13日(日)
vs. クリタウォーターガッシュ昭島 未定
第15節 5月10日(土)or 11日(日)
vs. ルリーコ福岡 未定

TEAM DATA

ヤクルトのラグビーは

堅守と展開が持ち味。

プロ野球でおなじみのヤクルトが、地域リーグ優勝の戦績や財務などが評価され、リーグワン入りを果たした。活動拠点は埼玉・戸田だが、来季12月以降のホスト会場は関連会社がある群馬・前橋のアースケア敷島サッカー・ラグビー場となる予定。FWの堅守とBKの展開がチームの二大特徴だが、ポイントはプレー強度の変化に耐えられるかだろう。強豪・浦和高出身のWTB高田賢臣など若手に逸材が多く、自信を手にすれば躍進もある。



Levins
Yakult Rugby Football Club

ヤクルトレビンズ戸田

ラグビーの街・福岡に誕生!
「完全地域密着型」クラブ。

人口約3万の福岡県うきは市を拠点とする新規参入チーム。2022年に「リーグワン参入」を掲げて誕生すると、休廻部などで行き場のなかった選手が続々集結。九州の地域リーグを2連覇し話題を集めた。同地に移住した選手は人手不足に悩む地元企業で働き、地域活性化に貢献する。大企業の後ろ盾がないリーグ唯一の「完全地域密着型」だ。今季より元コカ・コーラの豊田将万が指揮を執る。再挑戦に懸ける男たちの新章の行方は如何に。

HOST GAME SCHEDULE

- 第1節 12月22日(日)
vs. ヤクルトレビンズ戸田 [久留米陸]
第2節 1月5日(日)
vs. 中国電力レッドレグリオンズ [久留米陸]
第5節 1月25日(土)
vs. スカイアクティブズ広島 [久留米陸]
第7節 2月23日(日)
vs. 狹山セコムラガツ [久留米陸]
第9節 3月16日(日)
vs. クリタウォーターガッシュ昭島 [久留米陸]
第12節 4月12日(土)or 13日(日)
vs. 中国電力レッドレグリオンズ 未定
第14節 5月3日(土)or 4日(日)
vs. スカイアクティブズ広島 未定

TEAM DATA

- ①2022年 ②トップキュウシュウA優勝 ③未定 ④筑後地区(朝倉市、うきは市、大川市、久留米市、大刀洗町、筑後市、広川町)※8月1日時点 ⑤島川大輝(代表) ⑥豊田将万 ⑦なし

PICKUP PLAYER

カーン・ヘスケス

1985年8月1日生、ニュージーランド出身。13年間在籍した宗像サンニックスが2022年に休部。その翌年に加入した39歳の元日本代表WTB。2015年W杯南アフリカ戦で逆転サヨナラトライを決めた決定力は健在だ。178cm、103kg



KARNE HESKETH
WTB

ルリーコ福岡



KARNE HESKETH
WTB

STADIUM

スタジアムガイド

リーグワン開催スタジアム一覧

DIVISION 1

北海道	大和ハウス プレミストドーム
福島	Jヴィレッジスタジアム
埼玉	熊谷スポーツ文化公園ラグビー場
東京	味の素スタジアム
東京	秩父宮ラグビー場
東京	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場
東京	スピアーズえどりくフィールド(江戸川区陸上競技場)
神奈川	相模原ギオンスタジアム
神奈川	日産スタジアム
神奈川	Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu
神奈川	ニッパツ三ツ沢球技場
愛知	豊田スタジアム
岐阜	岐阜メモリアルセンター長良川競技場
静岡	ヤマハスタジアム(磐田)
三重	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿サッカー・ラグビー場
京都	たけびしスタジアム京都
兵庫	ノエビアスタジアム神戸
兵庫	神戸総合運動公園ユニバー記念競技場
福岡	ミクニワールドスタジアム北九州
長崎	長崎市総合運動公園 かきどまり陸上競技場
大分	レゾナックドーム大分(2025年1月から「クラスドーム大分」)
熊本	えがお健康スタジアム



◆
スタジアムの
詳細はこちら!

| 略称

プレド

Jスタ

熊谷

味スタ

秩父宮

駒沢

えどりく

ギオンス

日産ス

U等々力

ニッパツ

豊田ス

長良川

ヤマハ

鈴鹿

たけびし

ノエスタ

ユニバ

ミクスタ

かきどまり

レゾド

えがおS

DIVISION 2

岩手 金石鶴住居復興スタジアム

| 略称

金石復興

岩手 いわぎんスタジアム

いわスタ

福島 ハワイアンズスタジアムいわき

ハワスタ

群馬 太田市運動公園陸上競技場

太田市陸

千葉 柏の葉公園総合競技場

柏の葉

東京 江東区夢の島競技場

夢の島

東京 AGFフィールド

AGFフィー

愛知 ウェーブスタジアム刈谷

刈谷

大阪 東大阪市花園ラグビー場

花園

大阪 ヤンマースタジアム長居

ヤンマーS

福岡 ベスト電器スタジアム

ベスタ

福岡 ミクニワールドスタジアム北九州

ミクスタ

福岡 東平尾公園博多の森陸上競技場

博多陸

長崎 長崎市総合運動公園 かきどまり陸上競技場

かきどまり

熊本 えがお健康スタジアム

えがおS

DIVISION 3

栃木 足利ガスグラウンド(足利市総合運動場陸上競技場)

足利陸

栃木 栃木県グリーンスタジアム

栃木グ

群馬 アースケア敷島サッカー・ラグビー場

敷島

群馬 太田市運動公園陸上競技場

太田市陸

東京 AGFフィールド

AGFフィー

神奈川 萩野運動公園競技場

萩野

山梨 JIT リサイクルリンク スタジアム

JITス

広島 Balcom BMW Stadium

バルコムS

広島 福山通運ローズスタジアム

福通Rス

山口 維新みらいふスタジアム

みらスタ

福岡 久留米総合スポーツセンター陸上競技場

久留米陸

COLUMN



新国立競技場で行われた昨季のプレオ�프トーナメント決勝の選手入場シーン。リーグワンとしては歴代最多の総入場者数56,486人を記録した

狙いは試合数増加とレベルアップ リーグワン大会フォーマットの変更点とは?

text by Takayuki Fuchi

4季目を迎えるリーグワンをより魅力的な大会に導くべく、大会フォーマットに変更が加えられる。最大の変化はラガツツ、レビンズ、ルリーコとD3に3つの新規チームが加わったこと。それに伴い、D3は昨季比1増の6チーム、D2は昨季比2増の8チームで争われる。リーグ戦の総試合数はD2が昨季の30から56へ(順位決定戦は廃止)、D3が30から45へ増加する。D1は参加12チームで変わらないが、カンファレンス交流戦の試合数が増えることで、リーグ戦の総試合数が昨季の96試合から108試合に増えた。また、毎年さまざまなドラマを生み出すD1のプレオ�프トーナメントは、昨季まで上位4チームで戦われたが、今季は6チームとなり、一層の盛り上がりが期待される。全体的に試合数が増えるのがポイントで、その目的は競技力を高めてリーグの成長を促しつつ、各チームの収益機会を増やすことにある。各地で好ゲームを楽しめる機会が増えたはずだ。

TICKET

チケットガイド

チケット購入は便利でお得な「チケラグ(Ticket RUGBY)」で！

「チケラグ」の 2大進化

1 「チケラグ」でファンクラブ チケットも購入可能に！

リーグワン全26チーム中18チームの「ファンクラブ限定販売チケット」が「チケラグ」で購入できるようになり、お得で便利になりました。対象チームは今後も拡大予定です。

2 発券方法で「QRチケット」を 選択できるように！

「チケラグ」でのチケット購入後、従来はコンビニエンスストアで発券の必要がありました。今季から「QRチケット」の発行ができるようになりました（※対象外の試合もあります）。発券手数料がかからず、チケット紛失の心配もなくなり、さらに分配機能で友人へのお渡しも容易に。便利でお得に観戦するならQRチケットを利用しよう！



QRチケットのデモ画面。スマートフォンを活用することで、ラグビー観戦が便利でお得になること間違いなし

「チケラグ」でのチケット購入の準備

1 まず「Japan Rugby ID」に登録 →登録済みの方は3「チケラグ」へ

昨シーズンからチケット購入やラグビー情報、グッズ購入など、それまで複数の会員登録が必要だった日本ラグビーのサービスがリニューアルされて1つのIDで利用できるようになりました。現在利用可能なサービスは以下のとおりです。

「チケラグ」
「JAPAN RUGBY SAKURA CLUB」
「JAPAN RUGBY OFFICIAL ONLINE SHOP」
「LEAGUE ONE OFFICIAL ONLINE STORE」
「JAPAN RUGBY APP」



◀◀ 「Japan Rugby ID」の
詳細と登録はこちらから

2 メルマガ登録で 試合情報をキャッチ

「Japan Rugby ID」のメールマガジンに登録すれば、ラグビーをもっと便利に楽しめる様々な情報を受け取れます。

3 「チケラグ」でチケット購入

「Japan Rugby ID」でログインして、便利でお得に進化した「チケラグ」でチケットを購入しよう！「チケラグ」ではリーグワンはもちろん、男女日本代表、地域リーグ、大学や高校カテゴリーのチケットが購入できるほか、さまざまな限定発売のチケットの申し込みもできます。さらに検索機能やお気に入り機能も搭載され、お目当てのチーム、試合がすぐに見つかります。



チケラグ

◀◀ 「チケラグ(Ticket RUGBY)」
はこちらから

4 推しのチームができたら ファンクラブに入会

ファンクラブに入会すれば「ファンクラブ限定販売チケット」を割安で購入できます。今季からリーグワン全26チーム中18チームで「チケラグ」での購入が可能になりました！

チケットの価格例

今季開幕戦「横浜E vs. BL東京」の
試合を日産スタジアムで観る場合

座席表



価格表

2024-25シーズン 日産スタジアム		
座種	大人	小中高
一般チケット		
メインS指定	8,000円	
メインA指定	3,500円	1,750円
メイン自由	2,000円	1,000円
バックA指定	3,500円	1,750円
バックA自由	3,000円	1,500円
バック自由	2,000円	1,000円
ゴール裏自由	2,000円	1,000円
南いす席（メイン）	3,500円	1,750円
南いす席（バック）	3,500円	1,750円
特別チケット		
ペアシート（2枚）	12,000円	
デラックスシート	6,000円	
カウンターシート	5,500円	
ペアチケット割 （成年2名以上まで適用可能）		
メインA指定ペア（2枚）	6,000円	
バックS指定ペア（2枚）	6,000円	

SCHEDULE

| ディビジョン

DIVISION 1

| 大会フォーマット

レギュラーシーズン／リーグ戦・全18節

2カンファレンス6チーム総当たり2回戦(60試合)
リーグが定める2チームとのカンファレンス交流戦2回戦(24試合)
上記以外の4チームとのカンファレンス交流戦1回戦(24試合)

ポストシーズン／プレーオフトーナメント

レギュラーシーズン上位6チームによるプレーオフトーナメント(6試合)

| 日程

2024年12月21日(土)～2025年5月11日(日)

DIVISION 2

レギュラーシーズン／リーグ戦・全14節

8チーム総当たり2回戦(56試合)

2024年12月21日(土)～2025年5月11日(日)

DIVISION 3

レギュラーシーズン／リーグ戦・全15節

6チーム総当たり3回戦(45試合)

2024年12月21日(土)～2025年5月11日(日)

入替戦

ポストシーズン

D1下位2チームとD2上位2チームによる2回戦(4試合)
D2下位2チームとD3上位2チームによる2回戦(4試合)

2025年5月23日(金)～2025年5月31日(土)

リーグワンを牽引する組織論。外国人コーチの正体。

今季D1所属チームの3/4で外国人コーチが指揮を執るなど、もはやその力は日本ラグビーに欠かせない。彼らが生み出す違いの正体とは?

LEAGUE ONE 2024-25
開幕鳴動、飛躍の4季目へ

田村一博 =文
text by Kazuhiro Tamura

頂点に立ったチームの優勝秘話を聞き出そうとする時、特別な理論や技術が出てくることは少なくなりつた。情報化時代だ。均一化が進む。それはワールドカップ、世界各国のリーグ戦、そしてリーグワンにも共通していることだ。

それぞれのコンペティションで、上位に進出するチーム間の実力差、戦力差は小さくなっている。そこで、勝者となるチームは他とどこで違いを出しているのか。

答を探ったとき、選手やスタッフが、どれだけストレスフリーな状態で大会やシーズンを過ごせたか、そ

JAPAN RUGBY LEAGUE ONE



昨季のブレーオフトーナメント決勝戦後、談笑するブラックアダーHC(右)とディーンズ監督

ここに行き着くことが多い。チームの抱える総力をすべて出し切る環境を作った指揮官が、歓喜に浸る選手たちを柔軟な表情で見つめ、微笑む。そんなシーンを見たことがある人は少なくないはずだ。

家族のような集団を作る。それがチャンピオンチームを指導する際のコーチングのトレンドになつている。成長期にある学生チームには違う要素が必要だろうが、高いレベルでの競い合いの場こそ、そこには一人ひとりが力を出し切る環境を作ることが重要。だって、そもそも精銳が揃っている。良い意味で快適に

シーズンを制した東芝ブレイブルーパス東京のトッド・ブラックアダーハーは、選手やスタッフの心を自然体でつかみ、チームを家族にする。リーチマイケル主将は、同H.C.が練習時にフォワードの選手たちのタックルを次々と自ら受けける時間があると話し、それで「その場の空気が高まり、一体感が生まれる」と話したことがある。

母国・ニュージーランドだけでなく、欧州でも指導者経験のある指導官はジェントルマンでボス。厳しいトレーニングが続いた週を選手たちが乗り切ると、選手たちに近くの方へで「コーヒーを俺のツケで飲ん

日々を過ごし、気持ち良くプレーしても、らうことが大事だ。

激情の人として知られるエディー・ジョーンズ日本代表H.C.ですら、「怒らない」と宣言する時代。同指揮官は、「現代の若者の気質は以前とは違う。それは世界中で同じ。私も、もう何年も前から指導スタイル

を変えています」と言う。

「この監督のためなら倒れるまで走る」という(筆者も含む)古い世代が好む根性論は過去のものになりつつある。求められているのは、最強のファミリーを作ること。この点に関しては、「(家族など)ラグビーより大事なものがある」が染み付いている海外出身指導者が一步先を行っている。

たとえばリーグワンの2023-24シーズンを制した東芝ブレイブルーパス東京のトッド・ブラックアダーハーは、選手やスタッフの心を自然体でつかみ、チームを家族にする。

リーチマイケル主将は、同H.C.が練習時にフォワードの選手たちのタックルを次々と自ら受けける時間があると話し、それで「その場の空気が高まり、一体感が生まれる」と話したことがある。

の成功と魅力が発信されている。現在のリーグワンからは家族的チームの成功と魅力が発信されている。クボタスピアーズ船橋・東京ベイのフラン・ルディケH.C.は、家族に何かがあつた際はそちらを優先し、安心してからラグビーに取り組んでほしいというスタンスを、日頃から示していると聞く。埼玉パナソニックワイルドナイツのロビー・ディーンズ監督も同様で、教えるより引き出す指導で選手の力を伸ばしている。現代ビジネスでも通用しそうなチームビルディング、組織論は、ラグビーが世間に広く求められる理由のひとつになるかもしない。

いいぞ」と話し、達成感、解放感を増幅させる。毎朝、全選手、スタッフと会話しながら握手するのが日課。練習試合で選手たちの家族の姿を見れば奥さんと話し、膝をついて子どもたちと親類を合わせる。公式戦で、スタジアムのロッカーに家族が入れる日を作ることもあるという。カゴが歪んだママチャリでの通勤姿も、人間性を表す。そんなボスと一緒に勝利を祝いたいと、選手たちが思うのは不思議ではない。

そんな光景は、ブレイブルーパス特有のものではなくっている。2024-25シーズン、ディビジョン1のうち日本人指揮官は3チームだけ(全12チーム)。リーグワン発足から3季、頂点に立つたすべてのチームを海外出身指導者が率いた。どちらが優れているかの議論ではなく、現在のリーグワンからは家族的チー

ムの成功と魅力が発信されている。クボタスピアーズ船橋・東京ベイのフラン・ルディケH.C.は、家族に何かがあつた際はそちらを優先し、安心してからラグビーに取り組んでほしいというスタンスを、日頃から示していると聞く。埼玉パナソニッ

リーグワンの様々なサービスを

JAPAN
RUGBY

ID

JAPAN
RUGBY
APP

買う
Buy

リーグワン観戦チケットが買えるチケラグや
公式グッズが買えるオフィシャルオンラインストアも



- ・ ファンクラブ会員先行チケットもチケラグから簡単購入！

- ・ リーグワンや各チームの公式グッズをラインナップ

ひとつのIDで
利用可能！

楽しむ
Fun

試合招待や
限定イベントの参加



※2023-24シーズンに実施した限定イベント例

- ・ チーム公式ファンクラブサービス利用

- ・ 限定イベントに参加できるチャンス！

知る
Info

リーグワン情報を
網羅する
公式アプリで



メール登録で
お得な情報をGET

》》 JAPAN RUGBY ID でリーグワンの
サービスを便利に使いこなそう！

詳しくはこちらの紹介ページへ

JAPAN RUGBY ID リーグワン

https://league-one.jp/jp/jrid_info/



挑戦^{トライ}することで、
見える景色がある。



MUFG

結果がすべてじゃない。

とまでは言えないけれど、

トライ
挑戦を讃えることができれば、
世界はもっと前に進めるとと思う。

トライの瞬間、スタジアムは
拍手と歓声に包まれていた。



三菱UFJフィナンシャル・グループ[®]

<https://www.mufg.jp>

世界が進むチカラになる。

MUFG